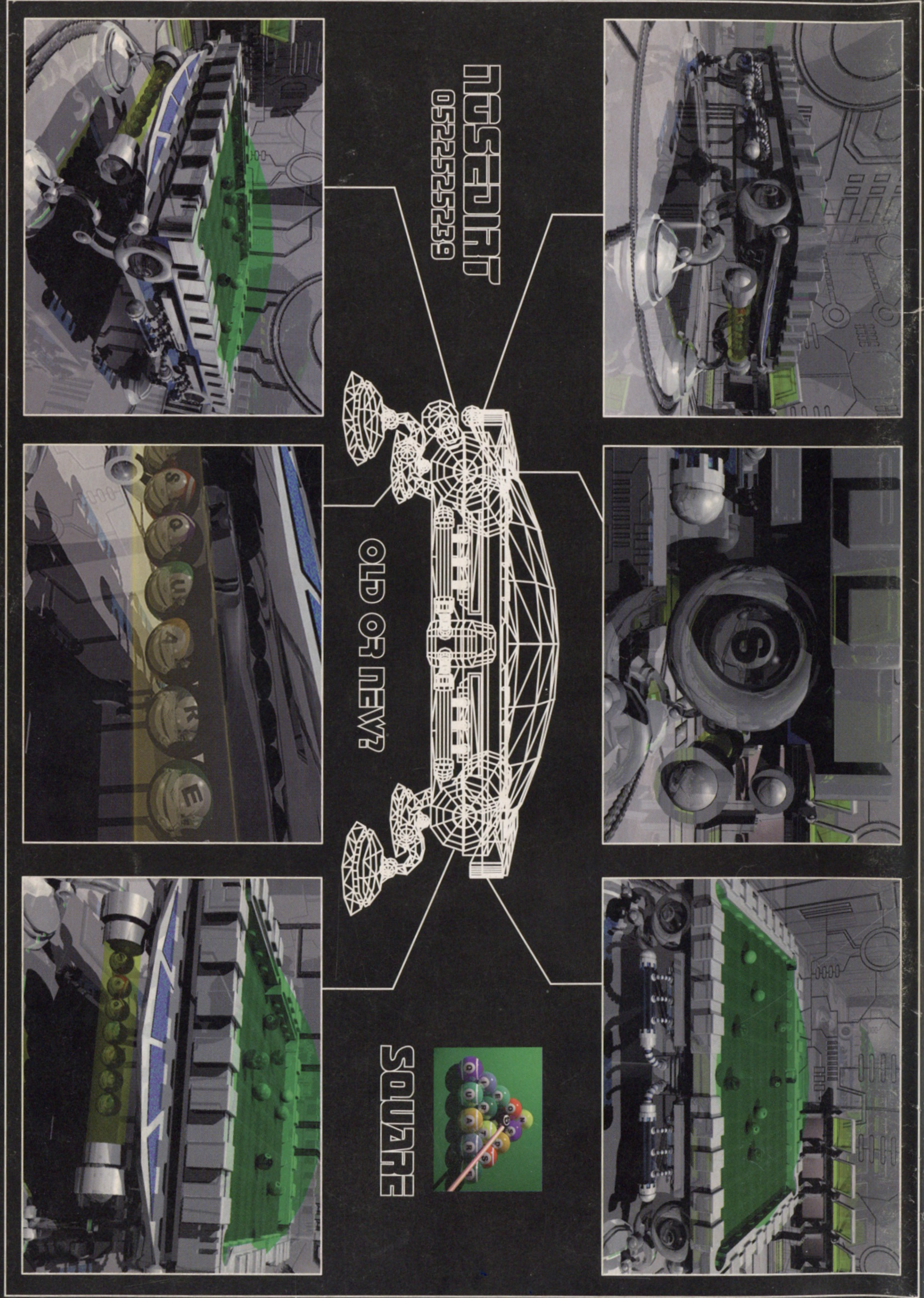
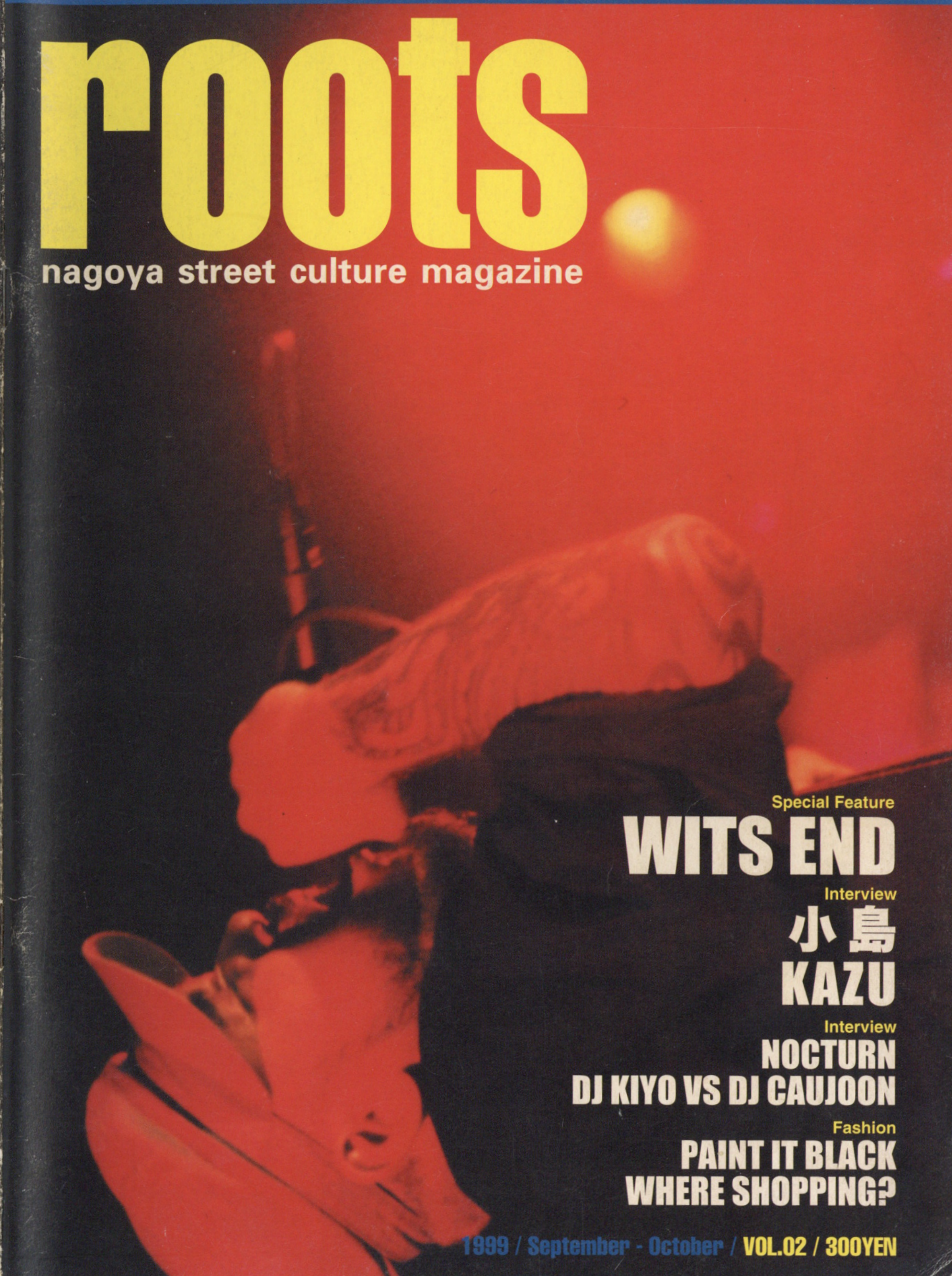


ARTIST, MUSIC, CLUB, LIVE, CLOTHING, GEAR, CULTURE, AND MO...

roots

nagoya street culture magazine



Special Feature

WITS END

Interview

小島 KAZU

Interview

NOCTURN DJ KIYO VS DJ CAUJOON

Fashion

PAINT IT BLACK WHERE SHOPPING?

1999 / September - October / VOL.02 / 300YEN

CONTENTS

FEATURES - music side
02 WITS END
06 KOJIMA
08 R.E.S KAZU
10 NOCTURN
11 DJ.KIYO vs DJ.CAUJOON

EVENT REPORT
12 FREAKY FLYING DISCO
13 MUDER THEY FALL
14 S.C.F
SOUL OF WRECK
15 PUSHIM&MOOMIN
RADIO FRYER

NOVEL
24 CITY OF TRAIN-YARD

08 COMIC
25 THE NORITO

FEATURES - fashion side
41 PAINT IT BLACK!!
46 WHERE SHOPPING?

REGULARS
17 COLUMN V.A
KILLER SELECTION
20 MUSIC BYTE
22 DJ's AND NOT DJ's CHART
29 Unhh!!!
30 WHERE ENJOY? INFORMATION
34 FASHION JUNKIES
36 CRITICAL ITEM
38 BRAND SEMINAR
39 AWAKE CULTURE
48 NEXT ISSUE & STANDING SHOP

COVER PHOTO
WITS END

Editor and Publisher
KATSUHIKO KITAGAWA
Art Direction and Graphic Design
KUNIYASU KOJIMA
Photographer
KANJI FURUKAWA
Staff
MITSUHARU ITAKURA
Assistant
MUNEHITO TAKAKU
TAKASHI FUJII
Spesial thanx
KUNIHIKO & YURIKO
KATSUHIRO & HIROKO

Printed by NAGANAE PRINTING CO.,LTD.
Produced by roots international

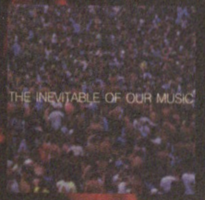
約5年前ハードコアブームの先駆者的存在とも言うべきバンド "TAKE THE LEAD" が登場。
その後、メンバーチェンジを経てWITS ENDとして活動している彼等。

アンダーグラウンドでの、長いキャリアと実績を持ち、衰えすら知らないWITS END。
完全な形でのインタヴューは、なんと本誌が始めてだというから驚き。
本人達の意向によってメンバー別々にインタヴューすることに決定。
WITS ENDメンバー個々の核心（ハードコア）に迫る！

DISCOGRAPHY

SECOND TO NONE/SPLIT

NOTHING BUT HARDWAY/V.A



THE INEVITABLE OF OUR MUSIC/V.A

WITS END/first EP

WITS END

exclusive interview

TSUZUKI / VOCALS

自分のルーツ

「中学校の頃は第二期スケボーブームだった、雑誌とか見てたらハードコアを聴きながらスケボーをやっている記事があって、ちょうど自分もスケボーをやっていたからコレだっ！って。CIRCLE JERKSにBLACK FLAGとかMISFITSにSUICIDAL TENDENCIES…ANTHLAXにMINORTHRETなど聴いたなぁ。俗に言うスケートロックっていうやつ。その頃だな、パスヘッドの絵を見てそうして絵に憧れて描きはじめたのは。そして中学3年くらいからそういうのを聴かなくなって、パンク！もうCLASHにハマったね。初めてのバンドがCLASHのコピーバンドだもんな。その時はベースやってました。UKパンクを全般的に聴いていた。CLASHが好きだったのは、すごくポジティブな面を前に打ち出していたから、それで奴らは成功した訳だからね。

──日本のバンドではどういうのを聴いてましたか？

「LIP CREAMにOUTO、S.O.BあとはDEATH SIDE、メタルが凄い好きだったんだよね。そうして俺が高校入ってすぐぐらいで、ちょうど名古屋のハードコア・シーンも熱くなってきた。」

WITS ENDのルーツ

「TAKE THE LEADというバンドをやっとって、ドラムが脱退するってことで改名しようってことでWITS ENDが誕生、そして現在のメンバーになりました。TAKE THELEADを始めたきっかけとしては、4.5年前、職場が一緒だったイタクラと、そこに遊びに来ていたリュウノスケとテラオが結成当初メンバー。その後、シマコロがドラムに入って活動していたんかな。あれからずっとバンドはやってなくて、自分のルーツに戻ったんだよねアメリカのハードコアに…。MINOR THORETが好きで、そういうバンドをやりたいなぁっていう感じでバンドを始めた。ハックフィンで、自分等の観たいバンドを呼んだりした企画ライヴ「MOVE UP FRONT」を行って、HALF LIFEとかDEVIDED WE FALL、SWITCH STYLEなど。その頃、COCOBATの坂本さんに気に入ってもらって初めて東京とかにも呼んでもらってたりとか」

──当時、一緒にライブをやっていたバンドは？

「名古屋ではJUNGUL BOOKかな。あとは…MANIACHIGH SENCEにCLAM CHOWDERなど。東京だと、SWITCH STYLE、ヌンチャクとかCOCOBATなど。YOU SUCKとかにも手伝ってもらったし、坂本さんとか世話になった人達には頭上がらないね。」

──TAKE THE LEADのデモテープのジャケットは×が書かれていましたね。

「好きなバンドMINOR THORET=ストレート・エッジっていうのがあるからそういうノリで最初始めた。昔と今では絶対変わってはいると思うけど、自分では意識はしていない。自分達で固定していたからTAKE THE LEADってモノに、それでメンバーがS×EじゃないんだけどS×Eっぽいことをしていたから、そういうノリで。そしてその中で次の音を出そうって思った時に結局、お客さんはTAKE THE LEADの音を求めている訳であって、俺達のNEXTなモノはお客さんは求めてないじゃない。そうすると自分達のやりたいコトを100%抑えてまでもやりたいとも思わないし。だったら改めてバンド名も変えて、もっとズッシリしたバンドをやりたいなあって」

WITS ENDの要素

「ヨウスケクンはTAKE THE LEADの途中からギターで入って、リュノスケがドラムでイタクラがベース。ヨウスケクンとは、よくOUT OF TOUCHのライブに行ってそこで知り合うようになって、憧れてた人だったし。やっぱり日本初のアメリカンハードコアだしね、OUT OF TOUCHは。日本初だよ！S.O.Bより先だよビビる!! 音楽的、ハードコアの面ではヨウスケクンに一番影響受けとるかなって思う。

──音的に意識しているのは？

「曲作りは全然携わってない！（笑）やっぱり意識してはないんだろうけど、好きな音が染みついているから…ニューヨークのハードコアなんだろうね。タフな部分とかカッコイイし…。ニューヨークで観たライヴはワッ!!と思ったねぇ、間違いなく。こっちで言うとジャップのノリってあるじゃない、それがそのままだったよニューヨークは。恐ろしい～っていう！演ってるバンドはBGMにすぎないっていう、結局当たると痛いからステージに背中向けて…みんなホールに注目して、これが本当のダンスフロアなんだなぁって。もちろんバンドは目立っているけど、そのライブハウスの"MOSH"を制覇する人間が2、3人いるんだからハードモッシャーが。あれは凄いと思った。

WITS ENDの今、その後

「つなぎ合わせてくれたもの、アンダーグランドでネットワークができてるんだけど、今じゃバンドが関係なくなってきてると言うか東京や大阪にも友達いるけどここまでになるとバンドだけのつながりってのも寂しいから、名古屋に遊びに来たらバンドとか関係なしでワイワイと。みんなそれなりに面白い奴ばっかで好き勝手に！バンドの話なんかしない！（笑）

──WITS ENDの最終目標は？

「全くないんじゃないかなぁ。別に売れりゃぁ、売れたコトにこしたことはないんじゃない。ただ自分達から無理矢理売れようとは思わないし。カッコイイって思う人がカッコイイって言ってくれてそれでデカクなっていくんであれば…。結局、みんなが見てカッコ悪いよって言っとるのにメジャーが食らい付いて、そこで動員数が増えてもねぇ、責任持てないじゃない。自分等の知らない所でデカクなっちゃって。コントロールできる範囲のレベルで」

HARD COREとは

「ハードコアとは、ベタな言い方するとやっぱりライフスタイルだと思うよ。それに尽きる。ハードコアって暴力なものだと思うし。自分等が一番影響を受けてきた部分がそういう暴力性だったしね。そういう緊張した雰囲気は良いと思う。ライヴのステージでは狂暴性が絶対必要だし。」

WITS ENDとは

「ん～溜まり場！掃け口！自分達の影響を受けてきたようなハードコアを表現できればいいと思う。ハードコアって言っても今っていろんなハードコアがある。俗に言うコア系！ってやつ（笑）別にバンドやってなくても『こいつハードコアだな！』っていう奴いるでしょ。こういうコトをしたらポジティブだ！とか決めつけたがることない？お前にそんなコトを決められたくねえんだバカヤロー!!って思う。自分なりのポジティブを貫き通せば良いことであって、でっかい夢を持ってればポジティブな訳じゃないんだから。」

──もしも、ハードコアというジャンルが無くなり、他のジャンルでバンドをやることになったらどんな音楽だと思いますか？

「そんなの別に分かんないよ！俺、明日になったらハードコア嫌いになってるかもしれない！瞬間、瞬間で生きてるから。ハードコアってムーブメントじゃないって言う人達も多いけど。ハードコアってムーブメントだよ！絶対そうだと思うね。」

YOSUKE / GUITARS

自分のルーツ、WITS ENDのルーツ

UFOってのがおるんだけど、イギリスのハードロックバンド。それを小学校5年生の時に兄貴から聴かせてもらって、そこのバンドのギターリストMICHEAL SCHENKERに影響を受けました。そこから、RATTとかMOTLEY CRUEなど聴いて、そっから6年生の時に、テレビで観て衝撃を受けてパンクに目覚めて、初期パンクはそんなに通らずにいきなりG.B.HとかDISCHARGEとか聴いてました。と同時期にMETALICAを聴いたりもしてて…やっぱりねぇ、LA メタルはバンドをやるきっかけとなったね。RATT、 MOTLEY CRUE、W.A.S.Pでしょ、ARMORED SAINT、KING KOBRA 、QUEENS RYCHE とか、バンド単位としてLAメタルが良い。その辺のバンドのギターリストだけに影響を受けとったら早弾きの方向でしょ、きっとみんなとも知り合ってなかった（笑） でも、今もメタル。
——OUT OF TOUCHに在籍してたんですよね？
OUT OF TOUCHはねぇ5、6年前だったかな。ずっといて、ほんでTAKE THE LEADに入ったんかな。あの"SUNDAY SCHOOL HARD KNOCX"が俺のTAKE THE LEADデビューだったと思うんだけど。始めドラムのTAKEと知り合いで、OUT OF TOUCHのライヴにTAKE THE LEADのメンバーが観に来ていて、そうしてみんなとも知り合ったのかな。その頃よく聴いていたのは、DARKSIDEとかいろいろ。何聴いてたんだろう？あんまり覚えていないなぁ（笑） 昔と比べると好きなバンドは変わっていないけど、聴いているものは変わったと言えるね。最近ハードコア聴いていないもんなぁ（笑）最近は普通のROCKをきいています。エルビス・コステロとか、ジョー・ジャクソンなど。

WITS ENDの現在-今後

——曲作りの過程は？
まず、曲を作っているのは俺とリュウノスケで、リュウノスケはだいたい完成形が多いけど、俺はドラムが全く叩けんもんで自分の頭ん中でワールドが広がっとるんだわ（笑）ほんで俺は家でギターのリフを考えてそれをスタジオに持っていって考えてドラムを合わせるという感じで、リュウノスケはドラムが叩けるからこういう感じで！って言えばスグ大体のドラムパターンが出来上がる。それにリフが繋がって、リズムも出来て曲になっていく。
——WITS ENDの新曲リリースはまだですか？
ん!?（笑）納得のいく曲ってなかなか出来ないもんなんだわ。絶対妥協はしないから。
——昨年あたりからチューニングを1音下げに変更しましたよね、意図としては？
細けぇ〜（笑）意図としてはダークな感じに、そういう毒々しさをより表現できるようになった。こだわりは、やっぱり個人的に言えば暗〜く重〜く！俺は音的なことしか表現できんけど、どこよりもヘビィで！
——この先のWITSENDは？
どうなるんだろう？何か凄いコトが待ってるんじゃない（笑）

WITS ENDとは

あえて言うなら社会に対する不満かな、何で仕事がないんだっていう！（笑）うちのメンバーはそれぞれ好きな音楽をちゃんと持ってるし、音楽趣味が一緒だったら面白くない！そんなバンドないだろうしね。
——国内で共感できるバンドは？
SECOND TO NONEは尊敬できるね。詩も曲もしっかりしとるし。他はもろもろ

ハードコアとは

何でもないなあ（笑）俺はメタルだからなぁ。
——ハードコアって暴力的イメージがありますよね？
それは大事、馴れ合いになってはダメ。ハードコアって元々、暴力的イメージなものであって、和んでいる雰囲気も良いことだけど、馴れ合いになっとるね。もっとこう、楽しむトコは楽しんで、締めるトコは締める！ライヴでは程々に緊張感を出してはいると思うんだけど、まだ納得したライヴはあんまりないし、なかなか、演奏していて気持ち良い時と気持ち良くない時ってあったりするわけで、気持ち良い時ってまだ少ないね。それが出来るように今努力している。

age:25 / from:西三河 / hobby:らくがき / like word:路上進化
respect band:HALF LIFE / like music:HIP HOP
my best live:N.Y.のコニーアイランドで観たMADBALLとSUBZERO

age:27 / from:尾張旭市 / hobby:遊園地で遊ぶ / like word:日々努力
respect band:C.F. / like music:70'S ROCK
my best live:HUCK FINNでやったCRUCK、LIP CREAM

RYUNOSUKE / GUITARS

自分のルーツ、WITS ENDのルーツ

小学校の頃おやじにドラムスティックを買ってもらい、当時"ポニーテールは振り向かない"っていうドラマの主人公がスティックをポケットに入れているのがスゲェかっこ良くて（笑）それで買ってもらって喜んでた…そこからだねドラムを始めたのは。そうして中学校に入って、ブルーハーツやラフィンノーズとかのコピーバンドで、それから高校に入って、オリジナルで パンクバンドを始めて可児市のUINKとかでやっとったね。当時はドラムをやってた。そして、高校卒業してバンドも解散して俺は名古屋に出てきた。連れを通じてツヅキクンと出会って、ライヴとか一緒に行くようになってツヅキクンとその職場のイタッキーとも出会い、ツレのテラオとそんならバンドでもやろっか！っていう感じでTAKE THE LEADが誕生。その時、俺はギターを練習しとったから俺が曲作ってたホント初期。そこからUSハードコアが好きな奴がいるって出会ったのがTAKE。その後ドラムとして加わり始動！そして初ライヴがロックンロールで！
——衝撃的なライヴでしたね
まぁ、やっていれば類は友をよぶで、岡崎のMANIAC HIGH SENCEとか、あとJUNGLE BOOKと一緒に出て、それからやっていくうちにギターが2本あった方が良いねってことで、OUT OF TOUCHのヨウスケクンと出会ってそうして一緒にやれることになって願ったり叶ったりでした。当時は不安定っていうか、いろんなものを吸収していく時期だったんで、だんだんと重いメタリックな感じなのをやりたいねってWITS END になっていった…
——当時はS×Eノリで
ストレートエッジの前向きな生き方を俺は尊敬しとったし、とりあえずは軽いノリでやってみようって…。けど全然ジャンキーだったっていう（笑）正反対だったという、俺は何にも考えてなかったね。S×Eはブームだったけど。当時、俺が凄い好きだったバンドはねぇSWITCH STYLE！あいつらのライヴはマジブッ飛んだ！奴らは一体どんな音楽から影響を受けたんだろ？ってとこからリンクしていろんなバンドを知ったね。アメリカのバンドでよく聴いていたのは、SICK OF IT ALLやMADBALL、AGNOSTIC FRONTにカナダのCHOKEHOLDとかも好きだった。その頃にニューヨーク遊びに行ってライヴを観た。KILLINGTIME、MAXMUMPENALTY、SUBZEROで、観たらホント死んだ！ぶっ飛んだね。その頃は情報も少なかったから。こんなに暴力的なのになんでみんな仲がいいの？って、実際バンドも凄げぇカッコイイし、入れ墨もガッチリで、なんだこりゃって…かなりハマって、そこからバンドの音にもろ影響されたし、スタイルにも。
——WITS END の誕生は？
そうしてタケチャンが抜けたから最初俺がドラムをやってWITS ENDに名前も変えた。WITS END初ライヴはダイヤモンドホールのWarp ツアーじゃなかったかなあ？MURPHY'S LAW、SICK OF IT ALL、DOG EAT DOGなど出演していた。その後、モリオが入って俺がニューヨークに渡ったのかな。英語がどうしても喋りたいって、英語が分からずに行くより喋れることでかなり広がるだろうと。その頃チャンスも、タイミング的にも良くてN.Y.に渡った。

NEW YORK CITY

渡った当時ニューヨークでは、コニーランドハイ、CBGBとかで毎週日曜日に必ずライヴが行われていた。いつも行ってるうちに自然と友達ができた。ほとんど欠席ナシだったもんな俺（笑）最初にライヴハウスで会った日本人っていったらOUT OF TOUCHのメンバーだったっていう！（笑）そうして、ポールっていう現在はKILL IDOLのベースをやっている奴と知り合って凄く仲良くなった。あいつに出会って大きく変わったと思うし、一緒にライヴ行こうぜ！って昔から知っている親友みたいなノリで接してくれた。2年半ニューヨークに居て、ニューヨークのハードコアシーンって、何だろう？って、発祥の地だからなのか？あの街自体のパワーなのか？ってぐらい凄いパワーを感じた。ライヴは何か導かれるんだよね自然に。それがライフスタイルに、生活の一部になってた。他にも、いろんなものを観るようになったねぇ、ルームメイトの影響でヒップホップやテクノのライヴにも行ったり、日本にもまだ入って来ていない凄い文化のパワーがあった、いろんなのを観ていろんな物を吸収した。
——ニューヨーク・ハードコアは？
皆が集まってできたシーンって言うのか。なおかつ皆がタイトな関係で同じものが好きで、心底好きだから人種も関係なく集まってきているもの。

WITS ENDの要素

まさにそのニューヨークのハードコアみたいなもの。仲の良い奴らが集まってやろうよ！って感じで、本当にメンバーはタイトな関係だからかなぁ。
——曲つくりの過程
俺が作る場合は、ドラム、ギター、歌のラインを80%くらいの状態を作って、スタジオで合わせたり。ヨウスケクンが作ってきたりと、2人で作っているね。
——リリース予定はあるんですよね？
HGからシングルを出す予定！あと俺らの尊敬する人のやっている大阪のRADICAL EASTからアルバムは出したいなぁとは思っている。原田さんのバンドを昔観たもんで今俺達があるんだなって思う。もろUSハードコアで、凄えカッコ良かった！みんなマイペースだもんで、そのうち出ると思うよ。（笑）

WITS ENDの現在ー今後

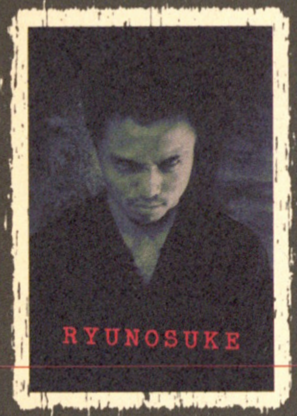
音楽性自体はどうなんだろう。第3者的に見たら変わってきていると思うけど、やっている本人たちは根本的、芯になる部分は変わってない！今後はとりあえずライヴはコンスタントにやっていくし、まあ、最初っからバンドで喰って行こうってノリじゃあないから、今の状態で満足してるのかなあ？いや満足してないからやり続けているんだ。誰かが1人でも抜けたらWITS ENDは終わると思うし。
——国内で共感できるバンドは？
やっぱ、高橋クン（S.D.S)と出会って変わったところはあるし…SWITCH STYLE、YOU×SUCKと出会ったりして、いろんな話をして、共感できることはいっぱいあったねえ。ニューヨークになると、たくさんいすぎ!!（笑）根本的にひっくり返されたから、バンドやってない人からも影響をうけたり、ホント何から何まで。俺に良くしてくれた人達はみんな共感できたって言うのか…アリガトウ！だね。

ハードコアとは

ハードコアとは形容詞なんだけど、今は音楽ジャンルになっとるけど、もっと真の意味で捉えるといろんな感覚でいろんなとこからハードコアを感じるわけで、ポジティヴであろうがネガティヴであろうがハードコアは、俺の感覚に常にあるもの。感覚に影響を受けたものにハードコア的要素は感じるね。TATTOOとかからも感じるし。」

WITS ENDとは

「自分になくてはならないもの。WITS ENDがあって当然っていう、今さらそれを取り上げられても考えられないね。WITS ENDのWITという単語は"知恵"っていう意味で、WITS ENDで辞書ひくと、"途方に暮れる"とかって意味なんだ。英語的感覚で捉えると、途方に暮れる→それで何ができる？って意味だったり、"知恵は無しで気楽にいこう！" とかって解釈できる。感覚で捉える様なことを意味するんだ。」



age:25 / from:岐阜 / hobby:TATTOO / like word:ROOTS
respect band:GWAR / like music:JAZZ
my best live:MERAUDER with EDDIE SUTTON at CONEYISLAND HIGH

age:24 / from:東海市 / hobby:釣り / like word:キャッチ&リリース
respect band:MANIAC HIGH SENCE / like music:HIP HOP
my best live:ニュージャージーで見たMADBALL、ETOWN CONCRETE

age:25 / from:高山市 / hobby:ROCK'N ROLL
like word:SEX&SMOKE&ROCK'N ROLL!!
respect band:BILLY IDOL / like music:SOUL BOSSA TRIO
my best live:S.O.B、TOTTSUAN追悼ライブin新宿リキッドルーム

ITAKURA / BASS

自分のルーツ

「友達にバンドをやったら女にもてるぞって言われて、最初やり始めた。中学校の頃に、ジュンスカとブルーハーツのコピーバンドをやってた。それがベースを始めたきっかけ、ベースしか空いてなかった！（笑）そして中学校3年の頃に名古屋のパンクバンドのSTAR CLUBのライブビデオを観て衝撃を受けてパンクを知って聴き出した。SEX PISTOLSやRAMONESからDAMNED、CLASHなどいろいろ聴き始めた。高校に入って日本のハードコアOUTO、GUZE、コンチネンタルキッズなどを聴いてました。マッコイと出会って、UKハードコア、G.B.H 、DISCHARGE、その辺の音を聴きはじめて、今池ハックフィンへ地元の先輩のバンドBENZARINなど名古屋のパンク・ハードコアバンド、あとS.O.Bなどを観に行ってハードコアってものにハマった。名古屋のバンドOUT OF TOUCHを初めて観た時かなぁ、US ハードコアのスタイルを観たのが初めてだったのかな、凄い衝撃!!そんで、ライヴを観た次の日に速攻で、YOUTH OF TODAYとUNITYのCDを買いに行った！」

WITS ENDのルーツ

昔の職場がツヅキクンと一緒だったので知り合って、そこによくリュウチャンが遊びに来ていた。始めは仲間の洋服屋のテラオがギターを弾いて、リュウチャンがドラムを叩いて、オレがベースで、ツヅキクンがヴォーカルでTAKE THE LEAD結成当初。最初スタジオに入った時からいきなりオリジナルを作り始めたなぁ。TAKE THE LEADの頃は当然オリジナル曲だけど、ライヴではコピーも演奏したね。PROJECT X、RAISED FISTあとGORILA BISKETSもやった。 今から5年前、94年にTAKETHE LEADが結成、確かね。
——その初ライブは画期的でしたね
いや、サブイ！（笑）ん〜、たまたまうけた！当初、S×Eノリはあったかもしれない。デモテープに ×が書いてあったからなぁ。S×Eノリだったのは影響されたバンドがそうだったから。だけど実際はメンバーがストレートエッジだった訳でもないんだけどね。そこから、メンバーチェンジを経てWITS ENDに。オールドスクールなノリからダークなメタリックなノリにって感じかなぁ。
——音楽性の変化があったの？
変わってない、根本的には。ニューヨークハードコアに影響は受けたってのはあるけど、そこまで意識はしていないよ、俺個人的にはね。ニューヨークのバンドが好きか？って言われたら、好きなバンドもあれば、嫌いなバンドもあるし。好きなバンドは、MAD BALLやニューヨークじゃないけど、INTEGRITYなどなど。
——影響を受けたベーシストは？
COCOBATのTAKESHIサン、NICE VIEWのツカチャン、MANIAC HIGH SENCEのシロイクン、あとRESULTのUNOクン。バンドで影響を受けたのは数多い、 BAD-RELIGIONにコンチネンタルキッズ、OUTO、GUZEなど。

WITS ENDの要素

スタイル的には考えたことないし…。曲作りは、リュウチャンとヨウスケサンだから俺は曲つくるのヘタだから。ん〜、このメンバーが揃っているからこそ出せる音だね。1人でも欠けたらダメ、終わるねWITS ENDは。バンドのメンバー？みんな個性強くて良いことだと思うよ。もちろん、メンバーから影響を受けたこともたくさんあるし、アホばっかだけど（笑）

WITS ENDの現在ー今後

東京や大阪、それに名古屋、その他の地方によってシーンが違うからいろいろ面白い！他のジャンル、音、スタイルの違ったバンドとライヴをしたりもうちらは多いね。クラブでヒップホップやレゲエ、スカとかに誘われたとしたら俺は全然一緒にやりたいよ。その辺りではこだわらないね。他のメンバーが何っていうか知らんけど（笑）
——練習はめったにしないって聞いたけど？
スタジオはねぇ、俺キライなんだわ（笑）練習嫌いが多いねうちのメンバーは。あんまり、セコセコやってもねぇ。俺の中ではバンドは遊びの延長だからこれで飯を喰おうって考えたことないから、楽しかったら良い。
——リリース予定はあるんですよね？
早く音源を出さんといかんなぁ。HGからシングルを年内にはリリース予定なんだけどね。
——共感できる国内のバンド
ん〜、NUMBのヴォーカルのSENTAは喋ってみて共通できることはあるんじゃないかなあ。

WITS ENDとは

あんまり気にしたこともないくらい自然なもの…だな。人には分からん…気の合う仲間、バカの集まり。WITS ENDは簡単に言うと生活の一部！PEACE OUT!

MORIO / DRUMS

自分のルーツ WITS ENDのルーツ

STATE CRAFTをやっとって、そんでだまされたって感じかな（笑） 最初2年くらいは東京に居たんで名古屋に通いながらバンドしてました。そうそう、WITS ENDのファーストEPがリリースされた直後ぐらいから加入しました。リュウノスケがニューヨークに渡ったと同時に俺が入ってドラムを叩いた。 メンバーとは18歳の頃から知り合いだったなぁ… パンクロックで知り合った（笑）最初リュウノスケに会って、ツヅキくんに会ってその後にイタッキー、ヨウスケさんって順番かな。
——当時と現在では音楽性の違いは？
根本的な部分は変わってないんじゃないかなぁ。
——自分を導いた音楽達は？
高1の時だったかなぁ ANARCHY！GENERATION X！CLASHを聴いた時！そうそう、基本的な部分ってBAKU-TIKUだがんねぇ（笑）ビジュアル！元々ビジュアル、メイクとかしてた。あと、スケートロックとかも好きだった。Accused Gang Green Sucidal Tendenciesとか聴いていたりと。ハードコアを知ったのは鉄アレイを聴いてからだね。自分は一言でいうならファッションパンク！ビジュアルパンク！

WITS ENDの要素

何だろう？根本的な部分はバンドを始めるのはモテたいからじゃないの〜？（笑）だけどそれ以上にこのメンバーとドラムが好きだから。それがあるからバンドをやっているのかな。

WITS ENDの現在ー今後

今現在は新曲が2曲できました！多分、年内にはシングルがHGからリリース予定はあります。
——共感できるバンドは？
EXTRAVAGANZAとMANIAC HIGH SENCE!
——ドラマーとしてのこだわりや意識は？
何だろう？スティックは絶対ラルクアンシェル・モデル！（笑）これホント書いてね。できるだけ動く！見た目勝負！ライヴは楽しく、普通だった？（笑）ライヴはどれだけRock'n'Rollできるか。 影響を受けたドラマーは、The Blankey Jet Cityの中村達也、MOTLEY CRUEのTommy Leeにラルクのユキヒロかな。スタイル的にその3人のミックスしたのが理想的。

あなたにとってWITS ENDとは

ロッケンロール！

小島

"PUNKISH ROCK FUTURE TOUR" LIVE REPORT & SPECIAL INTERVIEW

最近よく耳にするなぁというインパクト大のバンド名の「小島」メジャーを見せつける宣伝、活動力の凄さは言うまでもない。小島のライブをまともに観るのは実はこの日初めてだったから不安と期待で向かったのであった。クアトロについてみると、ややっ、小島Tシャツの嵐!!といわんばかりにほとんど全員と言っていい程、小島のバンドTシャツを着用してライブに参加。（かなり圧倒された）しかも女のコのお客がけっこう目立っていた、勿論女のコもライブ中は大暴れしていた。始まりからフロアは渦巻き状態でお客は汗ビッタリ。テンポよく次々と曲をこなす、さすがに全員手慣れたステージングで、ヴォーカルのヒッチャメンが煽り歌う、演奏隊も巧みな動きを見せる、メンバー9人のステージはかなりの迫力だった。ライブ自体も、小島にはどこかキャッチーな部分（メロディや歌）があり上手くバンドの色として表現されている。多くの人に支持される理由がそこにあるんだなぁと勝手に思い込んでしまったライヴだった。

メンバーはそれぞれバラバラだけどこの東海地方が生んだバンド「小島」ここ近年のメロコア・スカコアブームにただ上手く乗ったというだけでは決してない。実際、それらのジャンルでは紹介できないくらいの容量があるわけで、小島は小島なりの音楽を表現しているだけでメロコア、スカコアとは距離をおいた場所に彼等は存在している。ようやくツアーを終えて一息ついた小島の結成当時からのメンバーである、タカシ(Acc.)　ビンビン(Tr.)　アベチャン(G.)の、いつもはインタビューに参加しないという3人にインタビューを決行！

原点を忘れない…。どんな音を出しても"小島"サウンド

――小島の結成のルーツを聞かせて下さい

タカシ(以下 T)　簡単に言うと92年に結成しました。僕がその当時からいて、最初はメンバーは4人で、カウパンクをベースにハードコアの要素を取り入れた感じのオリジナルをやってました。やってくうちにメンバーが入れ代わり、途中でヴォーカルにヒッチャメンが加わり、彼が曲を提供するようになってからまた曲調が変わってと…。

――ヒッチャメンとはどんないきさつで一緒になったのですか？

T　ナンバです、ナンバ！（笑）クラブ ロックンロールで！
　4、5年くらい前、彼はカウゴリラっていうサイコビリーバンドをやってて、ちょうど辞めた時期にクラブ・ロックンロールで会って、くどき落したって感じですね。（笑）

――ビンビンは？

ビンビン（以下 B）　俺は最初ドラムをやってて、ほんで途中でトランペットに変わったんかな…。

――その当時はどんなイベントに参加したり、どんな内容のライブだったんですか？

T　イベントはねぇ、名古屋だとサイコビリーの「エイリアン・スラップ・ショット」とか、ライブはいろいろと。三河の方でもやってました。

――バンド自体サイコビリー色が強かったんですか？

T　ん～その頃は、サイコビリー色っていうより、コンテンポラリーのような部分があったり、マノネグラのカバーしたりしてた。そんな要素も取り入れたりして、幅広くやっていく感じだったね。でも結局どんな音出しても小島っていうのは変わらない…。

――バンド名の小島の由来は？

T　あのねぇ、外から見た日本。日本って小島じゃん、小さい島。日本でトップになったる！って。そのためには名古屋からってのはあったんだけど…。

――アンダーグランドからメジャーになってバンドを活動していくうえで変わった点はありますか？

T　俺はないよ。他のメンバーは知らんけど。

B　ないよ。

――環境は変わりましたよね？

T　環境は変わった。バンド活動に時間を費やせる、その為に動いてくれる周りの人がいるし。

――メジャーというと曲の制作や活動など制限される感じがして完全に自由に出来ないイメージがありますが？

T　その辺りは問題ないですね。やりたいようにやれています。

B　メジャーになってライヴは変わってきているよね。やっぱメンバーそれぞれがプロとして意識してると思うなぁ。

T　オレはメジャーとかインディーズ関係なしで、お客さんはお金を払ってライヴに来てるんだからその分楽しませなきゃと。

――曲を聴いた感じはトータルでキャッチーな感じがしますが

T　今日、ココにいないメンバーが作ってきたりするんだけど、結局、このメンバーでやっていくと小島の音になるんだけど。とりあえず、パンクだね。

B　そうだね。パンク！

T　俺らがバンドを始めた頃って、今みたいにジャンル分けされてなかったのね、そんだから、あえて原点のパンクだといいたい。

――その辺りで影響を受けたバンドを教えて下さい

T　初期のガスタンクかなぁ。GUSTANK 万歳！！

B　いない（笑）

――それでは小島をジャンル括りするなら？

T　パンク！　パンクって一括りすると、この後いろんな展開ができるから。

――メジャーになっていろいろな雑誌をはじめメディアに取り上げられてますが、率直にどんな心境ですか？

T　実は、俺ら3人はいつもインタビューには参加しないんだ。9人インタビューにいたら9通りの考えがあるからまとまらないもんね（笑）あとねえ、俺ら基本的にしゃべりが苦手っていうのもあるね。

――ココで途中参加のアベチャン（以下 A）が登場

A　しゃべりは苦手だねぇ、そういえば。

T　俺が今日ココまでしゃべるのは、ここに来る前に一杯ひっかけてきたやんねぇ（笑）（そういえばプーンといい匂いが…）

――この雑誌ルーツはどう思いますか？

T　どんどんやって欲しいね。その地方のこういった情報を紹介する物がなきゃ、シーンは盛り上がらないし、絶対必要だと思う。アンダーグランドで頑張っている人達がライヴにしろ、クラブにしろ大勢いるから、本当だったらもっと他にもたくさん出版しててもおかしくないよ。

――「PUNKISH ROCK FUTURE TOUR」を終えた感想は？

B　疲れたねぇ。

A　ホテルが良かった（笑）

T　納得のいくツアーでした！

――今後の小島はどのような方向に向かっていくのですか？

A　進む方向に進むと思う！

T　ビジュアル系（笑）

DISCOGRAPHY

1　2　3　4　5　6

1. 小島（1st.EP）
2. Sexy Dynamaite Rock'n Roll (Album)
3. 犬走る-DOG RACE- (V.A)
4. 抱き合わせ
   小島/マイナーリーグ（SPLIT 12inch）
5. Punkish Rock Future (Maxi SINGLE)
6. Plastic On The Dogman (Album)

interview

R.E.S. KAZU 侍

TOP UP PRODUCTION

—— 現在に至るまでのrootsを聞かせて下さい
20歳の時に、現在はライフセイバーの世界チャンピオンになった人で先輩なんだけど、ロサンゼルスに居るから遊びに来いよってことで、遊びに行った。そこでロスのグラフティライターの知り合いがいて、いろいろグラフティを見に連れていってくれて、最初こんなのスグできると思っとったからその場ですぐスプレー缶を買って実際に描いてみた。そしたら案外難しくて、すごい奥が深くって思うように描けなかった。そこからハマった！

—— アメリカに在住していたんですよね？
そうそう、すぐ日本に帰ってくる予定だったんだけど楽しかったからそのままずっとグラフティをやるようになって、仕事も紹介してもらったりと、気がついたら20～23歳まで3年間ロスにいた。ロスからメキシコへ出たり、日本に一時的に帰ってきたりしてずっとグラフティをやっとった。そんで23歳の時に返って来たら、そしたらたまたまある1件のクラブBADYARDから依頼があって、店内中にスプレーで絵を描きました！こんな落書きで金がもらえるんだ！って感じでしたね。

—— こんな仕事があったんだって
仕事って感覚はまだなかったんだけど、それがきっかけでたくさんの依頼がきました。なにしろ、その頃名古屋にスプレーで絵を描いて仕事している奴なんていなかったもんで、だから雑誌とかテレビなどが興味を持って取り上げてくれたりして…、そうして5、6年前くらいから良い環境になってきた。看板や外壁にグラフティペイントをはじめ、ピザ屋のキャラクターを手掛けたり、テレビ出演、服、などいろいろ仕事をした。だけどこういう職種だから波があるわけで、収入がほんと無い時ももちろんあった。そうして頑張って、ようやく定期的に仕事が入るようになっていった。その後、刺激が欲しくなって、ジャマイカ、ニューヨーク　マイアミに行った。マイアミでブティックの看板を描いて、ジャマイカはキングストンにあるBARの外壁に描いたり。そうして日本に帰ってきてTOP UP PRODUCTIONとして、DJ やDANCERとかと共に活動を開始。クラブでライブペイントをやったり。

—— そのライヴペイントの狙いは何ですか？
グラフティをもっと分かってもらうためかな。HIP HOP要素としてRAP、 DJ 、DANCEっていうのはたいていみんな知ってるし身近かだと思うけど、HIP　HOPにはもう1つグラフティがあることを知ってもらいたかった。人前で一度も描いたことないものを下書きナシで、制限時間内に描く訳だから凄く刺激になる。

——この前の海でのライヴペイントはどうでした？
アツイ！クソアツイ！（笑）直射日光ガンガンで暑すぎてスプレーが乾かなかった！途中で半泣き状態！ でも終わってみると気持ち良かったね！

—— ライヴペイントでは独特な人の顔を描きますね？
目を描くのが好きなんだがぁ俺。だから、スプレーで描く時も鉛筆で描く時も目をポイントに描くね。だけど、笑った顔が1つもない！

—— どうしてですか？
ひねくれてるんじゃない？（笑）というのか笑っている顔を描けない！自分の心の中みたい。自分で恵まれているとも、つまらない訳でもないから絵が真顔になるんだろね。自分ができることを一つずつ砕いて周りに流されないようにやるしかない。継続していく、気も楽、。TOP　UPは全員それぞれ独りでも動けるメンバーでそれの集まり。

—— ライブペイント時間はどれくらいですか？
ライブペイントは30～1時間程度。あれは刺激になる！決められた時間で描けないとダメだし、もちろん下書きなんてない、その時、その場で絵が決まる！だけど失敗はないよ、問題もない！時間内で出来なかったなんて言い訳は通じない。時間を忘れて一心不乱に描くのみ！

—— 始めての処女作は？
鶴舞の高架下！スプレーで参上！（笑）みたいな。暴走族の落書きは日本のグラフティ。自分の縄張りに描くっていう。上に描いたらケンカになる、でも描いて挑戦する！アメリカでも一緒だし縄張り争いみたいな。元々グラフティにはメッセージがある。勿論、アートでもあるんだけど。メッセージのある絵とアートはまた違う。結局、ヘタクソだから描かないんじゃなくて、それに対してメッセージがあれば、ラッパーがマイクでメッセージを歌うように、グラフティは喋りはしないけど絵で表現している！そういうのがある。

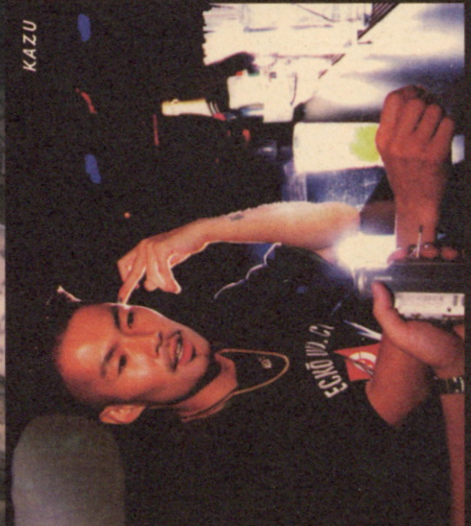
——では最近の仕事内容は？
最近だと、9月中旬ごろにリリースされるSUKUプロデュースの"BZARO"というラッパーのCDのジャケットを手掛けました。 今現在は、自分としては"グラフティライター"っていう形にはこだわらないで、"アートワーク"として店内の内装をトリッキーに魅せるためのペイントだったり、色や塗り方1つで木が石に見えたり、ベニア板がすごいアンティークになったりと、塗るだけでもいろんな技法（独学で生み出した）やり方があって、そういう仕事を全般的にやっています。

—— その技法のネーミングは？
KAZUスペシャル！（笑）　専門用語とか、専門知識にはこだわらないんだわ俺。教科書通りにやっていくとかはヤダね。人の作品を自分の目で見て、実際に見て学ぶのは多い。あと、絵を描いているときに絶対ミュージックを聴く！グラフティ描く時はもちろんヒップホップだし、トリッキーなアートワークはドラムンベースなど聴いたり、無音状態だと絶対描けないね。

——今のアートワークは昔のグラフティの頃の経験を生かしていると言えますか？
それは凄くあるね。グラフティがキーポイント！今やっているアートワークという仕事はグラフティをやっていたからアイデアや発想がどんどん出てくる。例えば、鉛筆はまっすぐな物だけど、俺が描いたらまっすぐじゃあないし、人の顔も、机も、物を違う視点から覗いた感覚を表現している。

—— グラフティ＝落書きですよね。逮捕歴とかは？
昔はね…。向こうではそういうのが勲章みたいなモンだし。日本だと始末書とか書かされるよ（笑）最近3、4年はそういうことやってないなぁ。

—— この仕事に辿り着くまでの苦労など
自分のやりたいことと、仕事と自分の中で区別した！やりたいこと、仕事でお金を稼ぐということはやりたくないコトでもしなければいけない。お客さんの要望に応える。やりたいことやっていて食えなかったら意味ないし。だけど先の夢はちゃんとあるし、言わんけどね（笑）絵を描くことに関しても、失敗は失敗で何で？って考えたらプラスになる訳だし、俺はすべてプラスに考える！



Los AngelesでGraffitiに出会って以来、グラフティライターとして 自分の経験を上手く生かし、現在では幅広い分野で才能を発揮する"KAZU"。彼が実際に内装を手掛けペイントした、ラウンジ3.5にてインタビューを行った。

"失敗をすることは必ずプラスになる"

(B'ZARO/PAID　CD Album)　(小野浦海岸のイベントでのライヴペイント)　去年暮れに行なわれたモシノカツラ＆サトシ＆KAZUのライブペイントinRADIX

NOCTURN

interview

長い沈黙を破ってようやく待望のファースト12inchをリリース決定！"国内NO.1 オンナラッパー!!"と豪語するMCのMOMO＆CHIBISACHI。2人の才能と魅力を最大限に引き出すDJ OLEE LOU そんなNOCTURNの全貌に迫る！

"女の子のRAPだったらNO.1！ ノックターンが日本一！"

——ではお約束ですが、結成のいきさつを

MOMO(以下M)　95年、ダイヤモンドクルーで生まれたNOCTURN!!そんで、CHIBISACHIとず〜っとやっとって最近になってOlee Louが入った。

——じゃあ今までは決まったDJというのは？

CHIBISACHI(以下C)　特定なDJというのはいなかった。

——何故、シンガーではなくてラップを選んだのですか？

M　来たぁ！ん〜やっぱRAPでしょ!!(笑)　何か、最初っから歌とは思わんかった。

C　だって、音痴だからなぁ〜（笑）

——それだけラップに目覚めさせられた、衝撃を受けたアーティストとかは？

C　日本人とか？女の人では特にいない！好きな人とかはいるけど、いいなぁと思うくらいで…

M　影響を受けた人はいないよ！最初にこの人みたいになろうとか…いないなぁ。

——じゃあ何もない、目標もなく、手本とするラッパーも無しでラップを始めたわけですか？

M　何もない、んん…手探りで。

——DJのOlee Louは何故DJを始めたのですか？

Olee Lou（以下O）　とりあえず、ラップのチームがやりたくて、昔にPHフロンとゴリGとでニューレベルっていう名前でラップチームやっていた。当時、スチャダラを目指していたから、お笑いをやっててそうして結局みんなバラバラになって、現在そのまま僕はDJを続けています。

M　Olee Louは古いでねぇ

——と言うとどれくらい前からDJとして活動していたのですか？

O　どれくらいだろう？　ん〜17歳ぐらいの頃だからもう7年くらいになるのかなぁ。そんで、CLUB buddhaでHAZUさんと出会って弟子になり、HAZUさんと演るようになった。そうしてニューレベルができて、サイファーメイズを経てほんで現在のノックターンになる。

——この前のダイヤモンドホール、7/18のHIPHOP×HARDCOREイベントに飛び入りで出た感想は？

M　楽しかった！

O　やっぱりHARDCORE側のお客の盛り上げ方が分からなかったんでちょっとどうしたらいいんだろう？って感じだったけど…

M　バックダンサーはエロかったでねぇ！NOCTURN SISTERSって名乗っているんだけど、あの時歌っていたCHISAというシンガーが今度リリースのMOMOの曲にフィーチャリングで歌ってます。NOCTURNが企画している女の子中心のイベントをやってるんだけど、新人などたくさん出るし。イベントはシンガーが多いかな。

——最近溢れてますよね女の子のシンガー等、いい傾向にありますね

M　昔はそんなイベントすらできなかったくらい少なかったけど、今こうしてやれるようになった。だけど、HIPHOPはまだ少ない！

O　女のラッパーが欲しいね。まだ今のところ、NOCTURNとDELA QUEENしかいないし。

——それでは本題、初12インチの話を聞きたいのですが、いつリリース予定ですか？

C　決定はしてないんだけど…

M　年内には！って感じかな。秋頃にはまず東京アーティストのコンピに入るんだよね。HAZUさんのプロデュースで！

O　TWIGY、RINO入りで！

M　その後、そこから12inchカットって感じで他の曲も入れて全3曲、リリース予定！それが初12インチとなります！

——曲の内容は？

C　MUJINAのフューチャー曲があったり、CHOCO-BROTHERSのフューチャーがあたりと。

——賑やかですね。レコーディングは終わったんですよね

C　もう全部3曲、録り終わりました！

O　もう終わって、DATも送ってあとはリリース待ちです。

——レコーディングを終えた感想は？

M　全然ダメ！（笑）アレはあれで良い仕上がりになってるんだけどMOMOが恐い！男みたい！（笑）

O　あぁ〜自分の歌の声がね！（笑）

M　ホント男みたいでコワイ！

——そんなにゴリゴリですか？楽しみだなぁ

M　声が男！CHIBISACHIはブリブリ！　ブリッコのブリブリね（笑）

C　ブリブリで自分で聴くと気持ち悪すぎ！（笑）

——プロデュースは大変でしたか？NOCTURNのイメージとかを考えたりと

O　僕が2曲、HAZUさんが1曲手掛けて、すごい大変でした。イメージ的に速めのトラックとかを上手く使ったり、2人のキャラクターに合わせたり、「サバイバル2000」という曲は軽くハデにしよう！ってノリで仕上げました。

——「サバイバル2000」はMUJINAの「MUJINA SPRIGUN」のノリに似ている気が

M　MUJINAとかCHOCO BROTHERSとかみんなでサバイバルゲームをやって遊んでいるから、同じノリで！

C　うちらがリアル・サバイバル！（笑）

M　この曲はハウスDJをやっているフレディのスタジオで録りました。参加アーティストは、NOCTURN、RYU、LOKU、MAKOTOで、みんな楽しんだって感じだった。

O　本当はもっとキレイメな音を作りたかったけど、みんなの要望もあって出来たらこんな感じだった。みんなホント言いたい放題！（笑）ようやくまとまった！

——トラックがチキチキ鳴ってますね、ティンバーランド辺りの影響とか？

O　大！だね。最近のドラムンベースっぽいノリにしてみたかったからこういう感じに。

——最近のお気に入りのプロデューサーは誰ですか？

O　RUFF RYDERSのSWIZZ BEATZかな。あとは、PREMIERとか…

——リリックの面では？

M　私は狂っとった！（笑）

C　RYUクンとは初めてMCで絡んだ。追っかけて追いかけみたいな感じで、かなり面白い内容になった！

M　日本で初めて男と女のラップでの絡みだよ！最初から意識はしてないけど、やってみたらたまたまそうなったね。いないからねぇ女の子ラッパーってのは。

C　サビの部分はレコーディングしながら作ったんだよ！

——ええっー！凄いなぁ、ぶっつけ本番ってやつですか？

C　フレーズは作っておいて、本番まで作ってなくてその場のノリで！

O　危うくオレがサビを歌わされそうだった！（笑）

M　リリックに関して言えば今までの内容は自己主張ばかりだったから今後はもっといろんな目線から見たような、例えばラブソングとかもつくりたいなぁなんて…（笑）

——全国の女の子シンガー＆ラッパーのMIX TAPE「SISTERS in STYLE」に1曲参加していますね

M　最近はレゲエのMACHACOさんと一緒に演る機会に恵まれて、それでレゲエのSISTER-KAYAさんのMIX TAPEに参加させてもらってレゲエの女の子達と協力！そこから学ぶコトもあった。だけど、HIPHOPやってる女の子だったらNOCTURNが日本一！　オンナラッパーとしては譲れない！それは言い切れると思うよ！

——それはニューリリースが待ちどうしいですね！そんなとこで最後に、これからラッパーになろうと頑張っている女のコにコメントを

C　継続は力なり！

M　そう、2人で始めた時から何かある度にお互いに言ってた合い言葉。続けることに意味がある！

DJ KIYO vs DJ CAUJOON

interview

6/26（SAT）RADIXの最終土曜日、TOKYO 注目度NO.1 DJ KIYOとNAGOYAで勢いを増すACMEDIA　CREWとで送るHIPHOP NIGHT!!　プレイ時間の終わった後を狙って。DJ KIYOとDJ CAUJOONとの夢の対談！

"シャレのイベントがなきゃやってらんない！柔軟に！"

CAUJOON（以下 C）今日はどうでしたか？

KIYO（以下 K）Lushとは違った感じで大箱っぽいよね〜。どっちも好きだね、空気が違うから。こっちの方がもっとCOREだよね。

C　今日はKIYOクンHIPHOPが多かったよね。

K　前回も前々回もHIPHOPだからそんな空気なんだよね！歌モノは、何かかけずらくて自分で結構やなんだよねぇ。

C　東京の方ではどんな感じなの？

K　何かスゲェR&Bしかかけねぇって言われるから。なんでだろうなぁ、すぐみんなそういうイメージつけたがるからなぁ、スゲェ嫌だよ。

C　僕ひそかにKIYOクンのファンで…

K　ありがとう！（笑）

C　東京での活動は？

K　来月かその辺りでテープをまた1本出して、HIPHOPで、今の気分はこういう感じ〜みたいな。ちょっと違うHIPHOPで、あとはトラックをやりたくて自主でレコード作りたいなぁと。俺が出したって名前出さないで、密かに。何かさぁ名前入っちゃうと嫌
なんだよね、日本人の耳で聞いちゃうの嫌だから。日本人の作品みたいな！で日本人の聴き方になっちゃうじゃん！何も言わないで、真っ白でカッコ良かったら素直にカッコ良いって言えるじゃんね。そういう風にやっていきたいなぁって。「名前入ってないと何かヤダァ！」って奴いるじゃん。日本人ってそういう考えがやでさぁ…。

C　今現在の活動拠点は？

K　今は中心は横浜なんだよね。東京はライムスターとかの辺りの一派と一緒に、あとは地方だね。

C　シャレのイベントが多いよね

K　シャレのイベントがなきゃね、やってらんない！疲れる！　不夜城みたいななきゃ絶対ムリだよ疲れちゃう！（笑）

C　できたら今度お遊びで！（笑）

K　やるんだったら、ナイショでやろうよ！いきなり！フライヤー2、3枚だけとか。

C　この前のLushの時凄かったですもんねぇ

K　毎回、名古屋凄いよ！地方回ってて1番好き！何か、人間がいいの、人で選ぶから、絶対地方は人だよなぁ。名古屋いいよ！

C　何か昔、クラッシュさんが名古屋は吉牛がうまい！って（笑）水がいい、味が違う！って（笑）KIYOクンの昔はどうだったの？

K　いろいろだなぁ。高校生の頃、HIPHOPのDJやってるのが1人だって、地元のBARでやってても、お客さんがHIPHOP知らないから全然うけなくて、そして、HIPHOPだけでもいけないって、みんなHOUSE　DJとかDISCO系とかと知り合って、それでオールジャンルになっちゃったな〜。その当時、KENSEIクンと一緒にやってたシュウチャンて言う人がいて、スゲェ上手だったんだぁ。それでHIPHOPを練習してて、HIPHOP!!何げに真はHIPHOP!!そん中で枝分かれしてお遊びにしているだけだよ俺は！

C　みんながROCKとかHIPHOPとか境界線を引かなければいい感じなんだよねぇ

K　そうそう！東京は正直言ってツライよ。言っちゃ悪いが、細分化しすぎでコレ系、コレ系みたいな！もっと柔軟になった方がいいんだよ。名古屋は柔軟な感じがするんだけど！何か感じる！

C　KIYOクンってプレイが綺麗じゃないですか

K　MIX TAPEはちゃんと作るよ！でもクラブは雑！その場の空気だから…

C　現場であれだけできるっていう事は名古屋のDJからみれば尊敬に値するかなぁと思うんですけど

K　あ〜うれしいです！

C　僕とか雑な時は本当に雑なんですよ！止めて喋ったり（笑）

K　それいいよ！スゲェうらやましいよ、見てて。それも才能じゃん！俺って人前苦手で、見せ物DJとかになると嫌なんだぁ。あと、外タレの前座のDJは死んだよ！何かけても反応しないの。喋れたら何か煽れるじゃん！

C　僕ら、名古屋でアクメディアをやっているのは、そういったケースも、その時にみんなで騒げるようにステージの上にも下にもクルーで！

K　クルー、しっかりしているから良いと思う。大事だよねぇ。

C　そういうスタイルなのは、レゲエのクルーと一緒にやってて、負けるじゃないですか。音的に取り入れる限界とか感じていて、提供の仕方とかレゲエの人達はアツイなぁって。WOONAGIと一緒にアクメスターをやってるんですけど。

K　うう〜もう1回見たいなぁ（笑）あれ、ズルイよね！カッコイイもん！

C　最後に、rootsはロックにヒップホップ、レゲエ、など名古屋のシーンを扱っている雑誌ですが、これについて

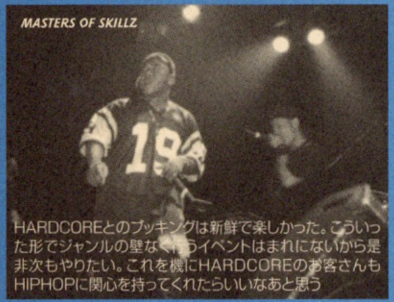
K　音楽好きならもっと柔軟に！HIPHOPにこだわりを持つのも良いけど、結構いろいろと転がっているもんだから、柔軟に！こだわるのは必要だけど、こだわり過ぎてもなぁ？って感じかな。

DIAMOND HALL 1999.07.18

MURDER THEY FALL

DEVICE CHANGE, TJ MAXX, PROTECT, EXTRAVAGANZA, WEST COAST CONNECTION, DYINGRACE, MADARA MASTERS OF SKILLZ, ETERNAL B, DS 455, KENSAW a.k.a. CHEEBA CHEEBA, MC ICHI a.k.a1LOW, SCAR

HARDCORE × HIPHOP = 2music - 1event - NO Rule!!



MASTERS OF SKILLZ

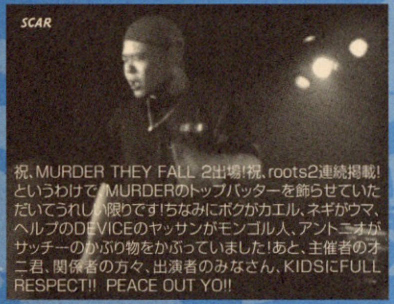
HARDCOREとのブッキングは新鮮で楽しかった。こういった形でジャンルの壁なく行うイベントはまれにないから是非次もやりたい。これを機にHARDCOREのお客さんもHIPHOPに関心を持ってくれたらいいなあと思う

ETERNAL B

マジスゴイ!! 1500人の半分以上はモッシュピットで暴れてたもんな。スゴイイベントだ!為になったよ。なにより名古屋の子達との間に距離を感じなかったし、もうほとんどMOME!!みんな地元のバンドやシーンをサポートしよう!そして地方のバンドにも愛を!また10/31（日）にHUCK FINNに行くのでまたみんなで楽しもう!

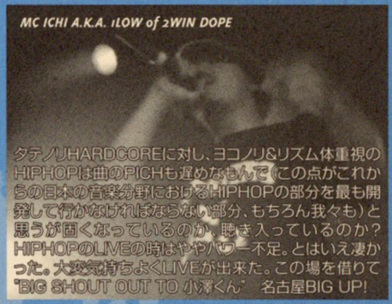
TJ MAXX

名古屋での最KILLER EVENTの、あのMURDER THEY FALLに出るとゆうことで凄く楽しみにしていたんやけど、何とほんまに凄い人と出演BAND&GROUPやったねえ。楽しんだイベントでした。その場その場で自分がめーいっぱい楽しめればいいんや。またよんでな、ありがとう



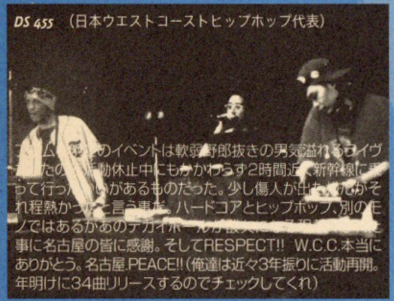
SCAR

祝、MURDER THEY FALL 2出場!祝、roots2連続掲載!というわけで、MURDERのトップバッターを飾らせていただいてうれしい限りです!ちなみにボクがカエル、ネギがウマ、ヘルプのDEVICEのヤッサンがモンゴル人、アントニオがサッチーのかぶり物をかぶっていました!あと、主催者のオニ君、関係者の方々、出演者のみなさん、KIDSにFULL RESPECT!! PEACE OUT YO!!



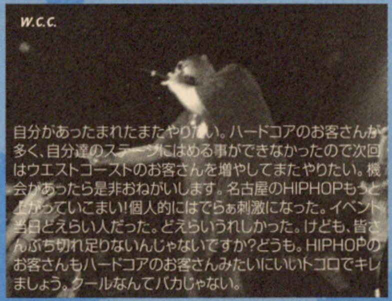
MC ICHI A.K.A. 1LOW of 2WIN DOPE

タテノリHARDCOREに対し、ヨコノリ&リズム体重視のHIPHOPは曲のPICHも遅めなもんで（この点がこれからの日本の音楽分野におけるHIPHOPの部分を最も開発して行かなければならない部分、もちろん我々も）と思うが固くなっているのか、聴き入っているのか?HIPHOPのLIVEの時はややパワー不足。とはいえ凄かった。大変気持ちよくLIVEが出来た。この場を借りて"BIG SHOUT OUT TO 小澤くん" 名古屋BIG UP!



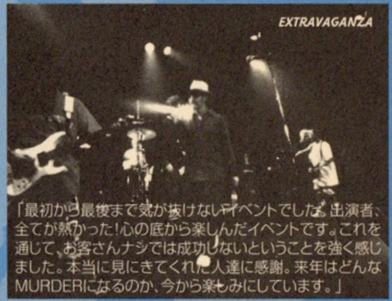
DS 455 （日本ウエストコーストヒップホップ代表）

[illegible]のイベントは軟弱野郎抜きの男気溢れるライヴ[illegible]活動休止中にもかかわらず2時間近く新幹線に乗って行った[illegible]いがあるものだった。少し傷人が出た[illegible]それ程熱かった[illegible]と言う事だ。ハードコアとヒップホップ、別のモノではあるがあのデカイホール[illegible]事に名古屋の皆に感謝。そしてRESPECT!! W.C.C.本当にありがとう。名古屋.PEACE!!（俺達は近々3年振りに活動再開。年明けに34曲リリースするのでチェックしてくれ）



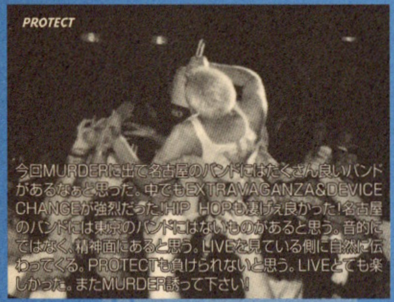
W.C.C.

自分があったまれたまたやりたい。ハードコアのお客さんが多く、自分達のステージにはめる事ができなかったので次回はウエストコーストのお客さんを増やしてまたやりたい。機会があったら是非おねがいします。名古屋のHIPHOPもっと上がっていこまい!個人的にはでらぁ刺激になった。イベント当日どえらい人だった。どえらいうれしかった。けども、皆さんぶち切れ足りないんじゃないですか?どうも。HIPHOPのお客さんもハードコアのお客さんみたいにいいトコロでキレましょう。クールなんてバカじゃない。



EXTRAVAGANZA

「最初から最後まで気が抜けないイベントでした。出演者、全てが熱かった!心の底から楽しんだイベントです。これを通じて、お客さんナシでは成功しないということを強く感じました。本当に見にきてくれた人達に感謝。来年はどんなMURDERになるのか、今から楽しみにしています。」

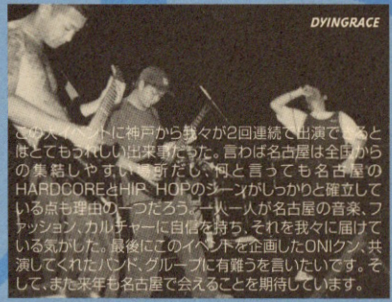


PROTECT

今回MURDERに出て名古屋のバンドにはたくさん良いバンドがあるなぁと思った。中でもEXTRAVAGANZA&DEVICE CHANGEが強烈だった!HIP HOPも凄げぇ良かった!名古屋のバンドには東京のバンドにはないものがあると思う。音的にではなく、精神面にあると思う。LIVEを見ている側に自然に伝わってくる。PROTECTも負けられないと思う。LIVEとても楽しかった。またMURDER誘って下さい!

DJ KENSAW

ヒップホップにもハードコアにも同じ共通点がある。それはハードでドープな部分[illegible]。それが体感できた1日だったと思う。このイヴェントを支えてくれたみんなにもお疲れさまでした。そしてハードでドープなイヴェントに来てくれた人達ピースYO!



DYINGRACE

このイベントに神戸から我々が2回連続で出演できるとはとてもうれしい出来事だった。言わば名古屋は全国からの集結しやすい場所だし、何と言っても名古屋のHARDCOREとHIP HOPのシーンがしっかりと確立している点も理由の一つだろう。一人一人が名古屋の音楽、ファッション、カルチャーに自信を持ち、それを我々に届けている気がした。最後にこのイベントを企画したONIクン、共演してくれたバンド、グループに有難うを言いたいです。そして、また来年も名古屋で会えることを期待しています。

DEVICE CHANGE

この日、僕達は半年振りのライヴだったのですごく楽しみにしていました。朝の11時がリハーサルで、出番が夜中の2時だったので結構大変でした。でもすごく楽しかったです。今年のMURDERはHARDCORE×HIPHOP。内容も最高でした!このイベントに[illegible]すべての人、ありがとうございました

NOCTURN

飛び入りで登場!!

MADARA

HARDCORE、HIPHOPというジャン[illegible]1つになれたと思うよ。みんな本当にありがとう!俺達や仲間のバンド達のメッセージがいろんな人に届くように頑張っていくよ。またぜひ、こういうLIVEを実現させよう!届け平和!PEACE!

CLUB JB'S 1999.08.21

FREAKY FLYING DISCO

club JB's presents

渡部 トシミ (TOKYO NO.1 SOUL SET) / スリーワンレングス / 脱線3
Support : A CAPRICCIO , NOIZE , @ny@xy

DO A RAT ナゴヤ店オープンにあわせたビッグイベントに渡部トシミ登場!!フラッシュの嵐!!

この夜、噂通りにお客さんの入りは爆発。地下に構えるJB'Sの入り口から外の歩道までズラッとチケットを持ったお客さんの列！中に入ってみても早い時間から超満員、この時点で拍手！JB'S企画に同じくして東京のブランドdoaratの名古屋店オープン祝いも込めての盛大なビッグイヴェントとなった。名古屋側の出演DJにラッパー、シンガーもかなり健闘していた模様。しかし、クラバーよりオシャレキッズの多いこのイヴェント。脱線3あたりから、スカ、レゲエのスリーワンレングスが登場でざわめき、渋めのセレクトでROCK～JAZZの渡辺トシミのプレイでお客さんは興奮状態！盛り上がってました。そうして、シャッターの嵐！別にいいんだけど少しは踊ったら!?なんてお節介だね楽しみ方は人それぞれだもんね、こりゃ失礼。入ってスグに「rootsのTシャツがでまわってるぞ！」って言われ、アンタそれはdoaratのプリントTシャツでしょって。だけどちょっと驚いた。

Toshimi Watanabe

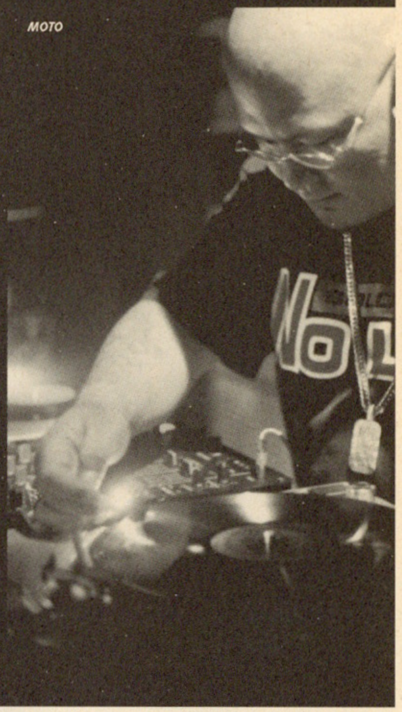
MILK HALL 1999.08.08

SOUND CAR FASHION

W.C.C. Nagoya Street Low Rider
DJ's 4-SIDE MOTO DOPEMAN

WEST COASTよ、何処へ行く…

WEST COASTのヒップホップにこだわりを持ったイベントS.C.F.はこの日で1周年を迎えた。イベント自体、目指すもののレベルが高く妥協はしないという姿勢でイベントに挑んでいただけに今回はどうやら満足できなかった模様。定期的に行われていたこのS.C.F.もここにきて危機か!!「1周年記念ということで期待をしていたけど、期待はずれだった。ホールもはっきり言って盛り上がってなかったし、全体の雰囲気も良くなかった…。1年間、2ヶ月に1度のペースでやってきたS.C.F.も残念だけど休みます。残念な理由は個々に考えて下さい。」と残念なニュースが飛び込んできた。今後のW.C.C.の活動は新栄のクラブWILD SWANで月1回ペースでイベントを行っていくとのこと。



MOTO

HUCK FINN 1999.08.14

RADIO FRYER ♯1

DO IT 052 FANZINE♯3 PRESENTS
DEVICE CHANGE, EXTRAVAGANZA, S.D.S, NUMB, ONE STEP FORWARD

DO IT 052 FANZINE＃3 発売おめでとう！

この日集まったHARD CORE KIDSは約270人!! ホント凄かった。もちろんライブハウスの中に入れずのお客さんも続出！かなりの満員窮屈状態の豪華出演メンバーによる強烈窒息死寸前ギグでした！汗だらだらで、もう言うことは何もないって感じで、あえて言うなら暑すぎ！ということぐらいかな。どのバンドもあえてコメントのいらないくらいクールでカッコ良かったです。中でもやはりS.D.Sには圧巻、ぶっ飛びました！来ていたキッズ達もこれには参ったという感じで、このリアルな緊張感がたまらなくパンクを感じました。「今回、ジャンルの壁なく出演してくれたS.D.S、そして集まったお客さんに出演してくれたバンドのみんな、関係者、一緒にファンジンを売ってくれたSCARのネギ、みんなありがとう！KAZUKICK 」ということで次回、10月にも行われるということで詳しくはINFOにて。

SDS

NUMB

NEO SOUL MASTER'S CAFE 1999.08.04

SOUL OF WRECK

SOUL OF WRECK (@ny @xy Isaac DJ SHOGO DJ MASAMI)
A CAPRICCIO, NIKKA SOUL, ERISURI DOLL+MAKO, FOOT ILLSION, MORE GUEST

ダンス - ラップ - 歌 - DJ腹一杯！

定期的に行われてきたSOUL OF WRECKはこの日スペシャルイベントとして大勢の出演者を迎えて大いに賑わった。主となるミュージックは、ヒップホップ、R&B、ソウル、ダンスクラシックス、ディープハウス。ショウタイムとクラブタイムに分かれており、ショウタイムのダンスにラップが始まるとお客さんはホールに座り込み真剣なまなざしで観ていた様子。そして今日の注目株（個人的に）女のコ3人組R&Bの@ny @xyのライブ。生で観て迫力には欠けるが音源通りの安定した歌声でほっとした感じ。都合上？仕方ないが、ショウでお客さんが座ってしまうのが残念。（ダンスに関しては分からないが、ラップや歌のライブはやっぱり体を揺らしながら観るのがいいな～）クラブタイムはDJ陣がお客を踊らせ、かなりみんな狂ってました。ショウタイムだけ観てDJのプレイになると引いてしまうお客がいるのでは？という不安もなくホールは盛り上がって、ジャンルもヒップホップからR&B、ハウス…と変わっていっても踊りは続行！って感じで全体的にいい雰囲気を出してました。今後はNEO SOUL MASTER'SCAFEで定期的に行っていくとの事。楽しみだ！

@ny@xy

OZON 1999.07.30

MOOMIN & PUSHIM

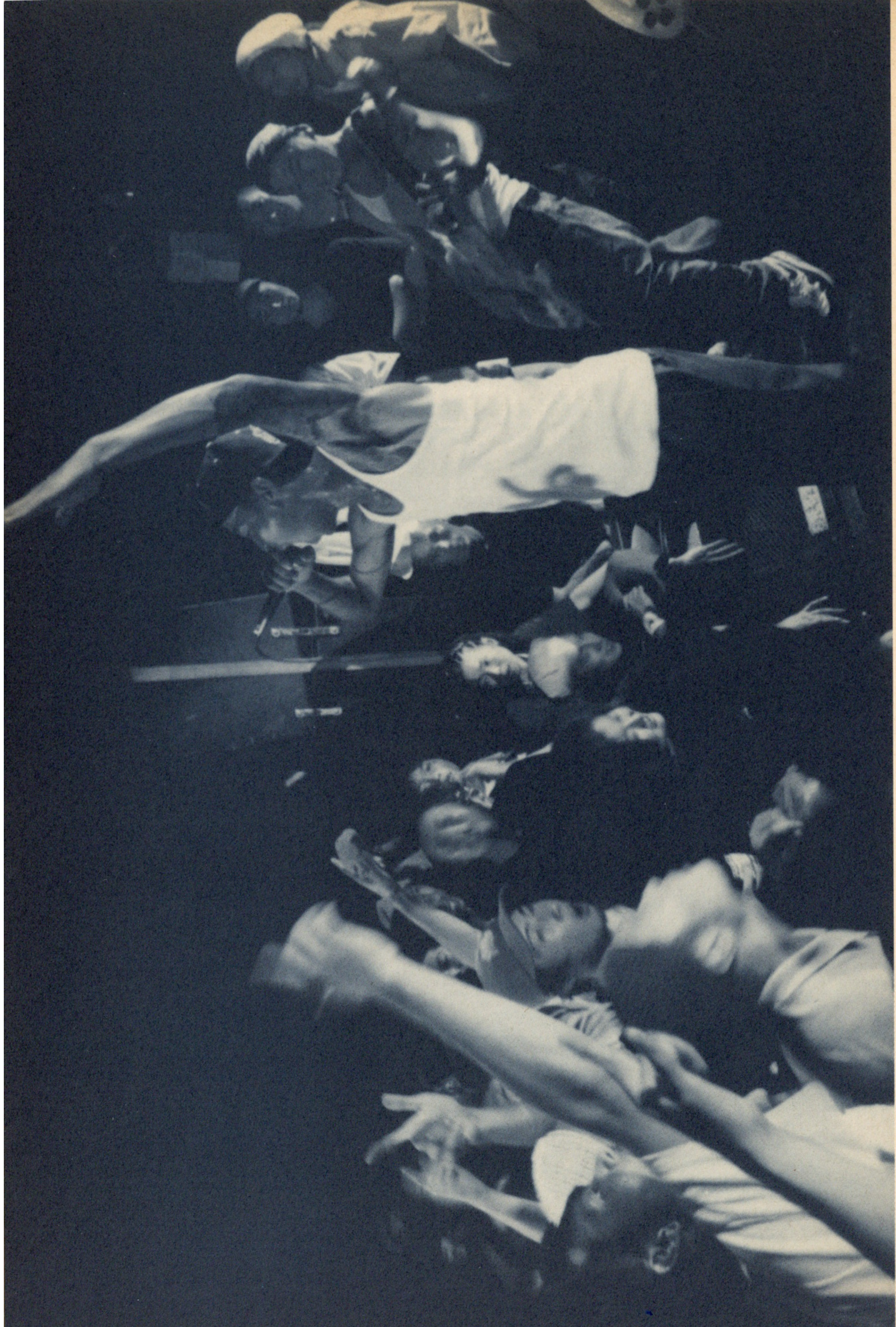
CLUB TOUR 1999, ZIP FM WEEKEND POWER JAM presents
DJ KIMOTO OKAMURA KEN-BOW

遂にメジャーデビューを果たしたプシン「今こうしてここに居るってことは、過去があったから…」

待望の2ndアルバム"MOMENTS"リリース直後のMOOMINとメジャーデビューシングル"Brand New Day"も好調なPUSHIM。NEOSITEレーベルを代表する2人を迎えての約1時間のライブ。
解散したトキワ（レゲエ・クルー）の頃から目立った歌声を聴かせ、そうして遂にメジャーデビューを果たしたプシン「今こうしてここに居るってことは、過去があったから…」とシビレるMCに軽快なリズムのレゲエ・チューンを披露。しゃがれた歌声に迫力のステージ！！ムーミンも安定した歌声に、慣れたステージをこなすといった感じでラスト「MOONLIGHT DANCEHALL」を合唱！2人共わずか数曲のライヴだったけれどお客はその魅力を十分に感じとれたのかな？それにしても、ステージに押し寄せるお客で前のバリケードとセキュリティがもうパニックで凄まじかった！お疲れさん。ライヴが終わったら通常の週末営業でパラパラ!?で大盛り上がり！！耐えきれず出ました（ゴメンナサイ）。互いにアンダーグランド・シーンから活躍していたムーミン、プシン。現場で身につけた力強さをまじまじと感じました。今でもプシンのMCが印象に残っている。メジャーになり実力・名声共にさらに上がったことだし、今後は日本のメジャー音楽業界にくい込んでどうでもいい歌謡曲達を蹴落としてくれることを楽しみに！…なんて。

PUSHIM

MOOMIN



DIVICE CHANGE / [RADIO FRYER] at HUCK FINN 8.14.1999

CLUB SIDE COLUMN V.A

KILLER SELECTION

人のリズムにのったりおりたり！

どもどもB.Pです。

BP

どもどもBPです。えーっ、北川くんからジャパレゲについて何か書けとの要請が有り、rootsに初登場。

俺に言わせれば、ジャパレゲはまだまだこれからの音楽だ。これはレゲエに限った事じゃなく、HIP-HOPとかでもそうなんだけど、あまりにも非現実的なリリックが多すぎる。いかにもボクちゃんみたいなヤツが「てめぇぶち殺してやる」なーんていうのはどえら変だわ。ストリートミュージックに一番大切なのはやっぱりリアリティーでしょ。魂の叫びって奴がなくちゃ聴いている人にも解ってもらえないんじゃないかな？まだまだサル真似の域を脱していないって事だな。“レゲエ”という所詮借り物の音楽をやるからには、歌詞くらいは聴く人の心に響く物をつくらんとね。

といったごくごく当たり前の考えをもってる俺も、この業界ではまだまだ変わり者扱い。この業界には神（オウムと間違えられるぜ！）とかガンジャ（捕まるぞ！！）とかいったレゲエのマナー（そんなもんないんだぜ！俺はレゲエこそジャマイカのゲットーから出て来たストリートミュージックだと思っとる。）にこだわってるヤツが本当に多い。俺に言わせれば、ただネタが無いだけにしか見えないんだけど。

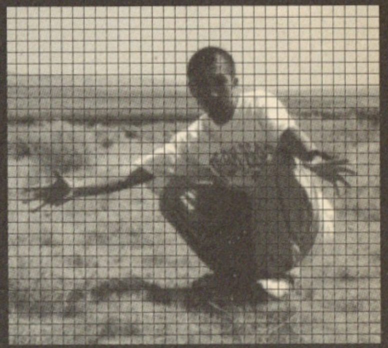
でも名古屋のお客さんは三木とかナンジャとか446をよう聴いてくれとるわ。これもアキソルのおかげかなぁ。まぁ、本当の意味でのジャパレゲの歴史はまだ始まったばかり。だんだんとイワせてくで見とったってぇ。

プロフィール
ＪＡＰ ｊam、空手、ＭＩＫＩ FM（ＭＩＸＩ'N）、爆音ＳＹＮＣＩＣＡＴＥを手掛ける史上最強の天才プロデューサー！現在彼の今までの作品をＤＪ ＨＡＺＵがＲＩＭＩＸしたＭＩＸ TAPE「一撃」が巷で大流行！

HIP-HOP王道

刃頭（HAZU）

ｒｏｏｔｓ Ｖｏｌ.2おめでとう。これからもどんどん回を重ねて長寿ストリートマガジンになることを祈りつつ、初登場の為、自己紹介から入りましょう。ズバリ世界一の音術師"刃頭"です。と、自己紹介はほどほどにしておいて、何やら音楽の事について書いてくれという事なので今日は音楽の事を書きますが、本当は犬の事について書きたかったってのが本心なのでありますが、今回は音楽について書きましょう。俺はＨＩＰ ＨＯＰ人間でありますが、実際の所ＨＩＰＨＯＰ以外の音楽を聴いている時間の方が長い。音作りをする人間としては、様々なジャンルの音楽を聴いていないとつまらない作品しかできないと思っとるのです。実際、最近のＨＩＰＨＯＰはつまらない物も多い。それはＨＩＰＨＯＰをやってる人間はこれを聴かないとダメだとか、高いカネを出してでもこれは買っておけだとか、つまらない腐りきったメディアの言う事を鵜呑みにしている人間が多いからだと思う。（ｒｏｏｔｓはそうならない事を祈ります） ＢＤＰが熱かった頃のＨＩＰＨＯＰには全ての物があった。俺達が求めていた全てが。レコードに針を乗せた瞬間、体中に衝撃が走り、電撃を受け、腰が砕けていた。今のＨＩＰＯＰにはそれ程の衝撃度数の作品は残念ながらお目にかかる事が無い。だから俺はＨＩＰＨＯＰをやめられない。俺には誰にも負けない個性、感性、サンプリングネタの幅がある。なんて事を本当はＨＩＰＨＯＰやってる全員が言えなきゃいけないジャンルだと俺は思っているんだけど、人の物真似が多すぎてたただただうざく感じる事ばっかなのであります。例えば誰かのネタ系ＭＩＸ ＴＡＰＥを聴いて、そのＴＡＰＥに入っていたレコードを大金に物言わせて手に入れたとしても、俺に言わせりゃ単にごくろうなこってす。あほらしくてしかたがありません。更にそのネタを使って曲を作ったとしたら、真のオカマ野郎の出来上がり。もう死ぬしかありません。せっかく何でもアリのジャンルをやっているんだから、ワザワザ人の真似をする必要はまったくなく、オリジナルかどうかが、その作品を評価する唯一の手段。こういった事を肝に銘じて、ＨＩＰ ＨＯＰをもっと上げて行こう。この薄汚れた世の中に一撃カマス事の出来る唯一の手段なのだから。敬省略



プロフィール
刃頭（HAZU）／昭和46年6月25日生まれ
身長172 ° 体重65- 足26.5 °
好きな言葉…5,6人（ごろくにん）
好きな酒…日本酒

ROCK SIDE COLUMN V.A

KILLER SELECTION

つづけて熟読Cafe&Smoke !!

A CLUE

中村健司

仕事柄、世界各国のディストリビューター、レーベル、バンドなどと連絡を取り合っていますが、その国毎に様々な特徴が有り、とても面白いものです。まず、日本以外のアジア地域ですが、マレーシア、フィリピン、シンガポール、中国などが、今注目でしょう。只難点は主流のフォーマットがカセットであるということです。次にアメリカ、イギリスですが、アメリカに関しては、個人的には2年程前のシカゴ周辺の動きが興味深かったです。CRUDOS,MK-ULTRA,MY LAIを筆頭に粒揃いでした。イギリスでは、やはり、どうしても82なイメージから自分自身抜け出せず、中心は「1 IN 12 CLUB」周辺のバンドになります。特にCRESSとは、熱いやり取りをしていた時期があり、強固な信念を持ったバンドだと記憶しています。次にヨーロッパ全域ですが最も日本人気質に合うのは、ドイツだと思います。数多く連絡を取り合っていますが、返事、発送の応対などきっちりしてます。逆に最もヒドイのはフランスと思ってます。RIP OFFで有名なSLUDGEに約5000フラン程やられました。現在、AACHENと名前を変えているので要注意。個人的には今はPOLANDが興味深いです。PIKEKLOKOBIETのフルアルバムは最も心待ちにしている1枚です。少し変わったところでは、クロアチア、ラトビア、リトアニア、マケドニア、スロベニア、といった国にもパンク、ハードコアは存在しています。やはり世界共通の音楽ですね。次は熱狂的ファンの多い南米ですが私自身は今はコロンビアに注目しています。MEDELLINにはイイヤツが多いです。ブラジルは面積も広くバンド、レーベルも多いですが、近頃はピンとくるものがありません。しかし、いつも当店に買いに来てくれる70's PUNKマニックな人には、心から感心します。決して安くもないオリジナル盤を買ってくれます。キツイ仕事してそうだな…。アルゼンチン、チリ、ペルーなども盛んです。極めて簡単にまとめてみましたが他にも数えきれない程のエピソードがあります。ロシアから仕入れの時にお金じゃなくてブーツが欲しいと言われたり、ブルガリアと連絡で、フォークが盛んであることを発見したり。最後に。こういったアンダーグランドのネットワークは信用関係が大切です。RIP OFFするディストリビューター、レーベル、バンドがいなくなることを願っています。

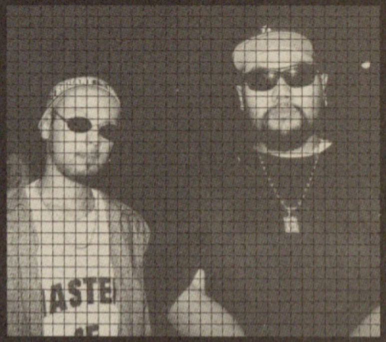
プロフィール
PUNK、HARD CORE音源紹介業。32歳。今池のキモゼン、カドマツでよく飲んでます。

MURDER THEY FALL

ONI & OZ

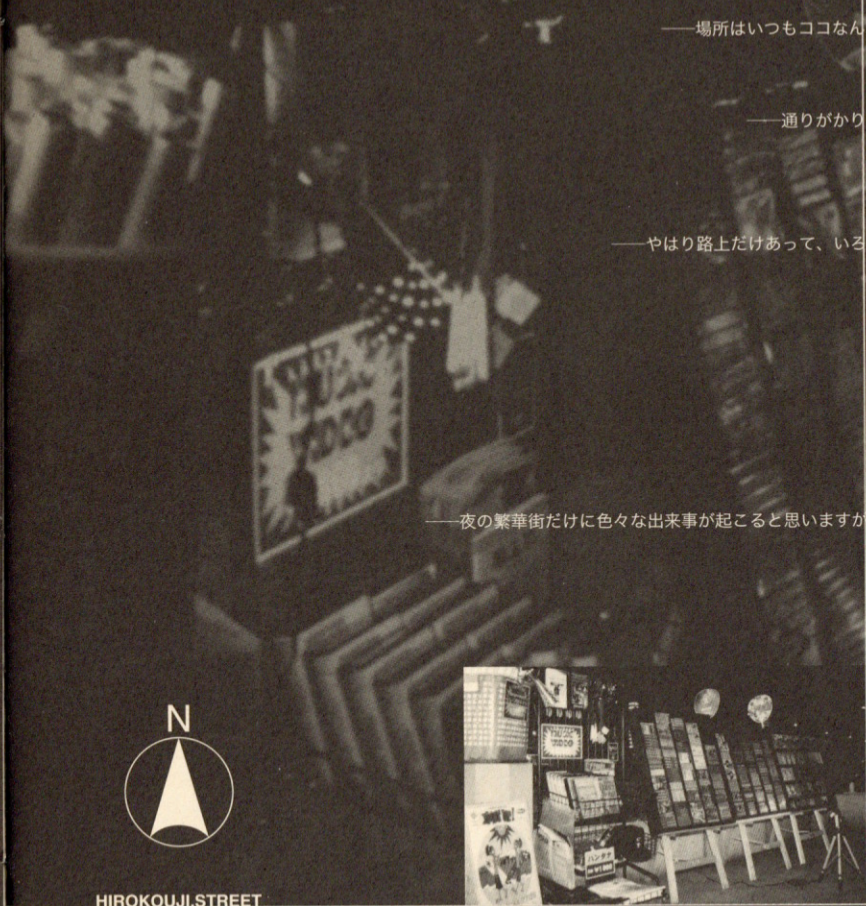
――まず冒頭にONI&OZからの言いたいコトや暴言、そしてみんなが期待していることは今回一切触れません。

昨年の7/31にMURDER THEY FALL（M.T.F.）があり、今年は7/18にありました。丸1年越しのイベントなのに今年のM.T.F.にはVOL.2とは書いてありません。それは前回のM.T.F.とは全く別物として考えているからです。HARD COREのメンツはそこまで変わってないけどHIPHOPが一緒となれば、もう全然別物!!HARD COREとHIP HOPが一緒の大イベントと言えばM.T.F.みたいな感じのノリで、だから今回がVOL.1です。そのM.T.F.が行われた理由を簡単に書きますと、HARD COREにもHIP HOPにもいろんなジャンルがあって、スカだのメロディックだの、メタルだの…、HIPHOPにもWEST、EAST、etc…と中でも色の強いというかCOREな部分が多いメンツを集めるとM.T.F.の出演アーティストみたいになり、ゴチャゴチャでやるといろんな意味をふまえてとても大変です。しかし、このメンツで楽しくLIVEが出来ればそれはとても面白い物になると思いました。HARD COREの状況はメロディックやスカなどは凄い人気だし、客も入ります。しかし、僕らが好きなアーティストが聖地HUCKFINNで出演BANDも良く内容が最高でも客が少ないことが度々あります。OZによるとHIPHOP SIDEでもJB'Sなどで最高のSHOWをやってもノリが悪く客入りもいまいちの時があるみたいです。そんな共通点から分かったことは客が入る入らない、良い悪い、じゃなくてただ単に多くの人達にLIVEを観てもらってない事に気付きました。CDは聴いたコトあるとか、名前しか知らんとか、恐いらしいよ…などなど。なんだかんだ言って本当は観たことないんじゃん!! と大まかに言いましたが、こんな感じでM.T.F.ができました！今回のM.T.F.の内容&感想は1000文字ぐらいじゃ書けません！それくらい良いものを持ってたし、メチャメチャ濃かったです。来た人なら分かるでしょう。大きなイベントは頻繁には出来ないけど、多くの人に観てもらうために、また浮ついたミーハーな奴らにREALを知ってもらうために、次回M.T.F.も期待しといて下さい！最後に、出演アーティストの皆さん、手伝ってくれたSTAFF、手助けしてくれたSHOPや関係者&ALL FRIENDSに本当に感謝しています。ありがとうございました。



プロフィール
ONI / SQUARE デザイナーであり、NOSEDIRTオーナー。いつもバス釣りに行っているから店頭にはほとんどいません。あしからず。
OZ / PHOBIA OF THUGのMC from W.C.C. 日本一ビッグなラッパー。しかしMACを使いこなしデザインする器用者。

尾張名古屋は夜の栄、帰宅途中のサラリーマンや遊びに向かう若者達が行き交う路上、大津通りと広小路通りとの交差点に、毎晩ラジカセからレゲエミュージックを鳴り響かせ、大量のミックステープを販売する屋台がある。今夜、街の音に迫る。



HIROKOUJI.STREET

REAL STREET

OHTSU.STREET

――毎晩、栄でミックステープの屋台をやっていると噂ですが、いつ頃から始めたんですか？

「え〜っと、98年の9月から始めたので、丸1年やってます。」

――どうして路上で屋台をやることになったんですか？何かきっかけがあったんですか？

「名古屋という土地にはコダワリを持っているので、路上でTAPEを売る事で、より多くの人にレゲエが広まればという発想から始めました。それと、生活の為…。」

――屋台では何を売っているんですか？

「商品は主にジャマイカから仕入れるダンスホールテープです。他には日本人セレクターが作ったMIXテープ、HIPHOP、R&B等もあります。これは！と思ったCDやアクセサリーも多少扱っています。」

――場所はいつもココなんですか？どうしてココなんですか？

「場所は栄三越のライオンナナメ前。三和銀行前。どうしてかは、いろいろあってここに落ち着いた感じ…。」

――通りがかりの人達の反応はどんな感じですか？

「場所柄、ギャルにギャル男に、OLにサラリーマン、チーマーに暴走族、そしてジジにババと様々な人が屋台の前を通りがかるが、迷惑そうな顔をする人は100人に1人位。」

――やはり路上だけあって、いろんなお客さんがやって来ますよね？

「お客さんは最近だと2つのタイプに分かれていて、日本語のリリックを好むお客さんが圧倒的に多いです。この屋台が気になって、TAPEを買ってくれて初めてレゲエに接する人、ルーツレゲエしか興味がない人、他のジャンルのカセットを求める人、ただのヒヤカシの人、色々な人が他にもやって来ますが、この屋台をキッカケに皆が偏見を持たず音楽をもっと楽しんでくれる様になる為、こちらも色々と知恵をしぼっています。」

――夜の繁華街だけに色々な出来事が起こると思いますが何かエピソードを聞かせてください

「酔っぱらったオヤジがTAPEから流れるガーネットシルクというシンガーの歌を聴き「この絹の様なスバらしい声は誰だ？」と（実話）TAPEを買ってくれたり、普段レゲエを聴く習慣がなかった人がハマってしまい、新しいTAPEが出る度チェックしに来てくれたり…と人々の反応はとてもいい感じです。（一部の偽善的な勘違い野郎を除けばですが）あとは、物々交換してくれと変な物を持ってくる人や、名古屋以外（三河、岐阜、三重は当たり前、大阪や横浜、東京などからも屋台を探して来てくれる人、本当に感謝しております）「釣りは要らねえヨ」というカッコイイお兄さん達ありがとうございます。飲み物を差し入れてくれたり、真冬にカイロを届けてもらったりと、たくさんの人達が応援してくれるので本当ありがたいです。街の色々なドラマに逢います。一部の若い人達は争う必要のない争い事で無駄な労力を使って意味のない事をしている様ですが、外国の悪い風習をマネしたりするのは、今後自分で自分の首を絞めることにもなりかねません。お互い注意しましょう。」

――いつも路上に居るから様々な出来事があるんですね。そういった出来事から感じるコトや、自身のguiding starの活動、今、身のまわりで思っているコトを聞かせてください

「今の名古屋にあり過ぎるのは偏見、足りないのは団結だと思います。隣人に尊敬と愛をもって接する事で、ツブすべき悪い奴達もハッキリ見えるでしょう。少なくともレゲエのビジネスに携わっている人だけでもそれに気付くべきです。それがたくさんある音楽の種類からレゲエを選んだ理由です。ONE LOVE！」

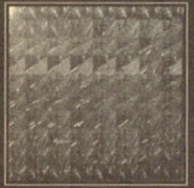
ARSONISTS / AS THE WORLD BURNS
HIP HOP / LP / [MATADOR] **HI**

FONDLE'EM からの数枚のシングルでヤラれちゃった人多数なN.Y.産激ヤバ、アングラHIP HOPグループ待望のデビューアルバム。あのKMDが持っていたスタンスに近い、シリアスさとコミカルさを合わせ持つ貴重なグループ。クラブプレイはもちろん、部屋でじっくり聴いても深い感動の大傑作!!ラバールームが怖すぎた人もコレなら安心。マタドールへ移籍して大ブレイクの兆しも見える。今年下半期最重要作品!! （林/GROOVE 本店）

LOUETRONIC / YOU ARE LOVE
HOUSE / 12inch / [NAKED MUSIC] **HO**

WAVEレーベルからリリースされたBLUE6"SWETER-LOVE"の興奮再び！実際つくってる人はほとんど同じなんでしょーが、今回はLOVETRONILなる名義でのリリースです。マイナー調の曲とエフェクトされた女性ヴォーカルの絡みがチョットたまんないです。フロアで踊りながらイロイロ妄想するもヨシ、メイクラヴの前に服用して気分を高めるのもヨシなエロティックな一枚。 （林/GROOVE 本店）

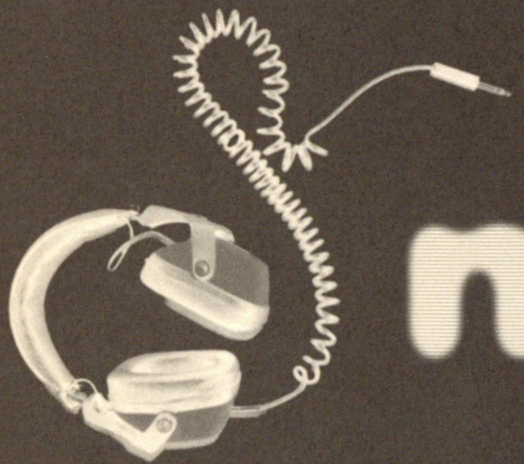
STREET LIFE ORIGINALS / SIDEWALK STORIES
HOUSE~JAZZ / LP / [PAPER] **HO**



ハズレの少なさと、高音質のレコードで一部の絶大な支持を得るUKディープハウス・シーンの看板的レーベルPAPERから充実のアーティストアルバムがリリース！ハウスといいながら、収録曲の約半数は非4つ打ちなんですが、内容良かったんで紹介。全体的に完成度高めで、ハウスシーンよりむしろJAZZ系の人から注目を集めそう。イカした変拍子の曲や最近人気のボッサビートまでこなす洗練のアルバム。オレってJAZZ?とか知ってる人は買っとこう!! （林/GROOVE 本店）

WAY BACK WHEN MIX / guiding star
Reggae / MIX TAPE / [CASETTE STAR] **RE**

60年代のROCK STEADYやEARLY REGGAEの名曲にSTUDIO ONE等のRIDDIMを使ったguiding starのDUB PLATEで構成されたMIX TAPEです。初めて聴くのに何故かなつかしいROCK STEADYをダンスホール野郎がMIXすると、こういう風になるというサンプル的なカセット。このスバラシイ音楽を一部のマニアだけに独占させるのはもったいない。偽りなくいい曲しか入ってないので皆で楽しみましょう。 （やや69）



music byte

brandnew disc review **20**

NOREAGA / MELVIN FLYNT DA HUSTLERS
HIP HOP / LP / [PENALTY] **SO**

SUPER THUGの興奮も冷めるどころか、まだその波が壁の向こう側を浸食し続けているにもかかわらず第二波が寄せて来ました。より右なサウンドプロダクションが展開され、あと一音足すだけでドラムンベースにいってしまいます。ただラップを乗せるだけでHIPHOPとD'n'B.が出会うと軽すぎるとタカをくくっている諸兄は、ひとまずこれをしっかり聴いて頭を覚ますこと。今、一番先頭にある音楽。これが売れるであろうアメリカの音楽業界は本当に健全だと思います。 （柏木/GROOVE 本店）

CAPTAIN FUNK / Busti'n Loose
Break Beats-Big Beat / EP / [Sublime] **D**

キャプテン・ファンクこと大江氏の大出世作「Busti'n-Loose」 元々はケンイシイらと日本のフューチャテクノシーンを作り上げた第1人者の彼。しかし、この作品は前進しまくりのドロップ！中身は、Pファンクからスカ？70'sソウルなどなどがパーティBig Beatという形で披露してあります。「キャプテン・ファンクってなんでもやるのね」っておもっちゃいます。ノーマンクックのDJもすごいが、日本にもすごい人いま〜す！ （ベーカン）

久保田 利伸 / Soul Bangin' Remix 2
R&B / 12 inch / [SONY] **SO**

やっぱり上手い!!!今回の彼の歌声には素直にならざるを得ないです。チンプな詩を堂々と歌い切る自信とヴァイタリティに拍手！特にCO-FUSION MIXがおすすめで、R&Bに始まり、ドラムンベースへ移行、さらに最後はフィルターバリバリシボハンフレンチディスコで久保田利伸のいい所全開です。当たり前のように売れたハセベ、ワタライミックスバージョンを尻目に、こちらのバージョンはまだ少しありますのでお急ぎを。 （小薮/GROOVE 本店）

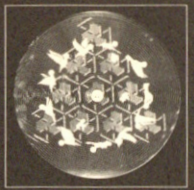
MESHELL NDEGEO CHELLO / BITTER
SOUL-R&B / CD Album / [MAVERICK] **SO**

凄腕のベーシストで噂の女、ミシェルのニューアルバムはまさに戦慄。生々しく正直で、いったん聴いてしまうと意識の奥まで掘り起こされてしまい、新境地がひらけてしまうかも知れない程に内面指向。これだけキャラクターが立っていて異臭ただよう女性歌手はめずらしく、メアリーJブライジの新しいアルバムのキャッチコピーじゃないですが「誰も私になれない」まさにそんな感じです。今月のブラックミュージックニューリリース、大きな感心事はこのビターな1枚。 （小薮/GROOVE 本店）

V.A. / MAD DOGS RUN WILD Vol.0
HARD CORE / CD / [BOOM KICKER] **P**

昨年4月に1stアルバム「Judgement Night」でデビューしたD. O. V. を筆頭にDEATHROLL、Speak Goddamn Pain、Mental Disease他、東海地区の全8バンドからなるコンピレーションアルバム。発売は3月だったがこの記念ライブを録ったビデオが間もなく発売予定ということでここに紹介。デスメタル、US ハードコア、クラストコア、グラインドコアなどを漂わせつつもタイトル通り牙を剥き出した猛犬の叫び、荒削りな音がココに詰まっています！ （やや69）

BOREDOMS / VISION CREATION NEW SUN
ROCK / 12inch EP / [A.K.A.BOUNCE]-WQJB-1023 **RO**



太陽面「SUNSIDAL CENDENCIES」は名作「SUPER ARE」以降のボアダムスの中でも最もレイブ向きな踊れる曲。サクレツするトライバルなビートが強調された祝祭的なフンイキにヤられます。反対に月面「MOONSIDAL〜」はふか〜く夜の中へとけていく様なアンビエント。MOOCHYによるRemixでr効果倍増。AB面それぞれ2曲目には自分で針をあげない限り永久にループする無限大ビート。「SUNSAIDAL~」にまたつないで楽しむべし。 （原/新星堂）

ABUSE THE ABUSER-ALL IS LOST / SPLIT 7 inch EP
HARD CORE / EP / [RADICAL EAST] **P**

98年10月に解散したDUG REVENGEのメンバーを中心に大阪で結成されたABUSE THE ABUSERとシカゴのタフガイハードコア？ALL IS LOSTのスプリット。単調な演奏&ヴォーカルだが、迫力&勢い充分なメタル色の強いALL IS LOST。Euro BrutalMetallic Styleというだけあって、かなり重圧なサウンドにヤラレル ABUSE THE ABUSER。今後は関西ハードコアを盛り上げるベキ存在。最近のメタル好きなハードコアキッズは必聴ってか！ Hardcore Breakout Crew vs Chicago Die Hard Crew!!! （やや69）

SOFT / SUN BOX
ROCK / CD / [COMMA]-MKCC-2004 **T**

パーティーフリークスの皆様、この夏はいかがでしたか？気持ちよくすごせましたか？さてそんな皆様ならば各地のレイブやパーティーで1度は体験しているテクノジャムバンド「SOFT」がAOAと同じCOMMAレーベルからCDをリリースします。その音はまるで生き物の様にジワジワと自由自在に変化していき、グングン高まるグルーヴの中、頭が、体が、音と一体となっていく快感！気がつけばもう熱狂のダンスの渦の中‥‥。 （原/新星堂）

刃頭 / 挿入
HIP HOP / MIX TAPE **SO**

相変わらず狂った音作りでオドロキであります。全体的にCLUBで大ブレイクしたHIPHOP連打のだし汁に日本語物、RAGGA物をブチ込みかき混ぜながら料理人"刃頭"（HAZU）ならではのブッ飛びMIXスパイスをまさに"挿入"した逸品。TWIGYから始まりM. O. SのNEW TUNEで締め括り、途中に登場NOCTURNも魔法のHAZUトラックに乗って激シブデスッテ！巻き戻して聴いたねコレ。疲れが溜まってけだるい残暑にこんな刺激が見つかった！恐るべきMIX TAPE!! モシノデザインのジャケが目印！ （やや69）

MOVE ON UP MIX / guiding star
Reggae / MIX TAPE / [CASETTE STAR] **RE**

現在を代表するラスタ アーティストLUCIANOやSIZZLA等の最近リリースされた45とGUIDINGSTARのDUB PLATEで構成されたMIXテープ。ある様であまりないこの手のカセットで心の汚れを洗い流しましょう。

- HI HIP HOP
- SO SOUL / R&B
- RO ROCK
- HO HOUSE
- RE REGGAE
- P PUNK / HARD CORE
- J JAZZ
- T TECNO / TRANCE
- D D'N'B / BREAK BEATS
- ? OTHERS

JACOB MILLER / CHAPTER A DAY
REGGAE / CD & LP / [VP] **RE**

now
priting

極めつけの2枚組、TOP RANK音源中心全33曲!!以前多くのアルバムリリースがあったため、カブリは当然ありますが、もう家宝に必ず持つべし。FORWARD JAH JAHCHILDREN、WESTBOUND TRAINは2VERSION!!現INNER CIRCLEのL.COFFIEソロアルバムとは天地の差。INNER CIRCLE新譜のJAMAICA観光パンフの表紙の様なジャケのショボ作を見て、J.MILLERは天国でどう思っただろう。 （野村/GROOVE ワンダーシティ）

MR.VEGAS / MR.VEGAS
REGGAE / CD & LP / [VP] **RE**

now
priting

またもやVP!! UK. GREENSLEEVES出の1st. とのカブリは殆どないので、まさに2nd!!前作はバックオーダーの入荷が悪かったので御迷惑をおかけしました。しかし2undha多数レーベルからのイッケイッケ快速ギッシリ。BEENをはじめ、BUCCANEER、SEAN. PAULも参加。突然ですが、自分はワンダーシティ店に移動になりました。ということでレゲエも大移動します。本店から激近で駐車場アリ！御期待下さい！ （野村/GROOVE ワンダーシティ）

GREYAREA / SAME
HARD CORE / CD & LP / [VICTORY] **P**

これはNEWリリースではないがあえてここで紹介させていただく。持ってる人や知ってる人は古いなオイ！って言われるかも知れないが、俺は紹介する。まず、Vo.はTOKEN ENTRY,INYOUR FACEなどのBANDを経て、様々な古き良き時代のBANDたちのジャケットを手掛けてきたERNIE。G.はWARZONEのメンバーだったJAYSKINS。この2人によって作られた音はなんともメロディックでコーヒーブレイクに最高！最新のMETAL COREみたいなのを聴いている人にもぜひ聴いて欲しい。 (MASAO／IN FRONT RECORD)

LES NUBIANS / PRINCESSES NUBIENNES
R&B / Album / [VIRGIN] **SO**

無国籍風なジャケットも印象的なフランスはボルトー地方からの姉妹デュオ「LES NUBIANS」いわゆる最近の○○系R&Bとかじゃなくてアルバム全曲通してDOPEかつ重量感なベース&JazzyなSAXが気持ち良いです。中でも有名なのがSadeの名曲「SweetestTaboo」をナイスカバー！Sadeとは違った彼女らしさを出したつくりは、UKなR&B好きには必聴です。SOUL II SOULのクルーも絡んでいるとか？ （ベーカン）

CANDIRIA / PROCESS OF SELF,DEVELOPMENT
HARD CORE / CD & LP / [MIA RECORDS] **P**

ついに登場CANDIRIAの3rdアルバム！2ndアルバムからかなりの時を経て完成したのがこれだ。1st、2ndと完璧なできであったために一体どんなものができあがっているのだろうかという期待と不安でCDのジャケットを開けた。HIP HOP、JAZZの要素を巧みに取り入れ、その辺のHARDCORE BANDとは1歩も2歩も先をいっている感じ。持ってない人は1st、2nd、3rdすべての作品を必ずチェックだ!! (MASAO／IN FRONT RECORD)

Sisters in Style / SISTEREN
REGAE / MIX TAPE **RE**

あのSISTER KAYAがプレゼンツする女の子オンリーの MIX TAPEその名もSisters in Style。北は岩手から南は沖縄まで、全国各地のクラブシーンで活躍中のビッグアーティストからブランニューアーティストまで、総勢22組の女性レゲエ、ヒップホップ、R&Bシンガー、ラッパー、DJのヴァイブレーションを最新トラックに乗せて90分ノンストップのレディオミックスに編集!!とチラシ文通りでどうでしょう？名古屋からはMACHACO、NOCTURNが堂々の参加。オンナのパワーを感じます！ （やや69）

DJ DOPEMAN (W.C.C.) — WEST,SOUTH HIPHOP

毎月第2土曜 "SOUTH&WES" at WILD SWAN / 毎週水曜 " NAGOYA" at CLUB CLICK

どーも。これから毎月第2土曜日にCLUB WILD SWAN（東海ラジオの41号を挟んだ向い側）でSOUTH&WEST、NAGOYAをW.C.C.でやるもんで遊びに来て下さい。今まで1回もW.C.C.のイベントに来たことない人間、勝手に自分らに変なイメージを持ってる人間、絶対におもしろいイベントだもんで一回遊びに来てから判断してくれ！
一発目、9月11日（土）ワイルドスワンで待ってます。

1 TEAR DA CLUB UP THUGS / HYPNOTIZE CASH MONEY (HYPNOTIZE MIND)
2 T.W.D.Y / PLAYERS HOLIDAY (THOMP STREET)
3 MERCEDES / NASTY GIRL (NO LIMIT)
4 CELLY CEL / GET IT CRECKIN (SIC WIDIT)
5 PHOBIA OF THUG Feat. MC LONE / 暗中模索'99 REMIX (G.T.P RECORD)

MOMIE (first DESIGN) — REGGAE

毎週金曜日 "first DESIGN" at RADIX / 毎週土曜日 "HIGH BROCK" at RADIX

今、超イケてるチャートTOP5という感じで選んでみました。
1-SIZE 8からのNEW TONE、かなりイケてます!!2-K.Liciousの新しいトラックで、一連のアーティストらのリリースあり。3-SEARCHお勧めのシズラの1曲！4-このリズム、むっちゃ渋いと思いませんか？5-ファーストデザインの新しい日本人のダブ。一曲まるまる聴いて楽しんでちょうだい!!

1 BOUNTY KILLA feat.Richie Stephens / MAGNET (SIZE 8)
2 BUJU BANTON / OPORTUNITY (K.Licious)
3 SIZZLA / BRAIN WASH (CROWN STAR)
4 Razah / Na Go Fi Dat (Baby Fathers PRODUCTIONS)
5 446 / バリバリメドレー (first DESIGN)

みつ（$TAX） — BLACK MUSIC

毎週月、木、金、土、曜日 at LUSH

ロジャー・トラウトマン追悼ということで1。アースウインド＆ファイアの名曲2。「WILD WESTは気恥ずかしいが本家はやっぱり素晴らしい3。タイトルは気マズイがこれも名曲4。JTテイラーが加入後のクール＆ザ・ギャングのまさにポップファンク5は夏の終わり向き。以上ダンクラで選びました。そろそろ「GREAT DANCE CLASSICS 2」出します。見かけたら買ってクダサイ。じゃ。

1 ROGER / DO IT ROGER (WARNER)
2 EARTH WIND & FIRE / LET THE MUSIC FEELING SHOW (CBS)
3 STEVIE WONDER / I WISH (MOTOWN)
4 ONE WAY / WILD NIGHT
5 KOOL & THE GANG / FRESH (DELIGHT)

SHOGO — R&B / HIP HOP / HOUSE

毎月第1第2土曜 "SOUL OF WRECK" at MAGO / 毎週日曜 "INSPIRATION" at ATRANTIC BAR / 毎月第4木曜 "MUSIC HARMONY RHYTHM" at WALL

今年の秋はDEEP HOUSEで深く暖かく行こうと思う今日この頃。1曲目は、プロモです。誰が歌っているかは解りません。でも超有名曲。二曲目はGOODガラージハウス。3、4曲目はDEEP HOUSといえばSPIRITUAL LIFE、JOEもヘビーローテーション！！5曲目は民族系、生楽器に、ピアノのメロディラインが入ってくる美メロトラック物。

1 ? / ALWAY THERE-RE-EDIT (SORE BOTTY)
2 TEDDY PENCER GRASS / THE MORE I GET (?)
3 SCOTT GROOVES feat CHRIS CODISH / ORGAN NIGHT PERT1 (SPIRITUAL LIFE)
4 MATEO & MATOS i dris Rises / LOVE OF LIFE PROJECT (SPIRITUAL LIFE)
5 M.T. AKA BAYAKA / VIAGEIRO (LIFE LINE)

CONQUEROR (GUIDING STAR) — HARD CORE REGGAE

毎月最終金曜日 "STER'S ARENA" at RADIX

さて僕は、MCとしての仕事が多く、クラブでレコードを回すのはごくたまに気が向いた時だけなので、そんな時にかけたい最近（ちょっと前のも…）の45を中心のセレクトしてみました。目まぐるしく次々とリリースされるジャマイカの7インチの中でも、この5枚は全ていい曲ばかりでレコード棚でホコリをかぶる事もないでしょう。特に1のメッセージは全てのレゲエファン、ケミカルドレッドの人達にしっかり聴いてもらいたい曲です。新しいのを追いかけるばかりが全てではありません。BLESSING

1 MORGAN HELITAGE / DON'T HAFF I DREAD (VP RECORDS)
2 SHINE HEAD / CALLIE WEED (VP RECORDS)
3 PAM HALL / SWEETEST SOUND (VP RECORDS)
4 LUCIANO / JAH IS THE ONLY ONE (POT OF GOLD)
5 BERES HAMMOND & MARCIA GRIFFITHS / SHOULD I SING "ANOTHER LOVE SONG" (HARMONY HOUSE)

OSHIMA — DRUMN'N'BASS

不定期 "JUNGLEST!!" at JB's

1曲目は疾走感、重量感共に最上級のフロアキラー。今一番カッコ良い音。2曲目はプロモとはヴァージョン違いでさらにヘヴィーに進化。ロニ・サイズ＆ダイの最新プロジェクト。アルバムも最高！必聴!!3曲目はレイ・キース、ヌーキー等、4アーティストによるカップリング2枚組。いつも通りクソ男らしいサウンド。全曲良い。4曲目はORIGIN UNKNOWNリミックス。5曲目は転がるビートに、うねるベースがいかにも今の音。

1 BAD COMPANY / FEAR (BAD COMPANY)
2 BREAKBEAT ERA / OUR DISEASE TERA (XL)
3 WARRIORS / E.P. (DREAD)
4 RED ONE / STRANGLED DUCK-REMIX (LIFTIN' SPIRITS)
5 BROCKIE&ED SOLO / TURNTABLE 4 (UNDILUTED)

DJ GREENE — HIP-HOP

日、月、火、金、土曜日レギュラー at TOP TEN CAFE

1-今ニューヨーカーはこれらしい。2-アブラノリノリCAUJOON SHIT! 3-かっこええ！4-JAY-じーまだまだいきます！5-やっと鼻が通ってきたわ。打たれ強いのはPOSITIVE 2000。色はパープル、来年は何色になるか、もはや楽しみにしています。

1 THE BEATNUTS / A MUSICAL MASSACRE (LP)
2 MUJINA / LET ME LOVE YOU (12inch) (ACMEDIA)
3 JA RULE / HOLLA HOLLA (REMIX 12inch)
4 JAY-Z / Jigga My N･･･
5 PUBLIC ENEMY / DO YOU WANNA GO OUR WAY???(12inch)

DJ'S CHOICE

NOT DJ's CHOICE

タカシ（小島・アコーディオン）

9/22 "BANK SHO" at Diamond Hall

1→小島が今のスタイルになる前にちょくちょくカバーしていた曲。詩の意味が分からんくって、中東系外国人労働者に訳してもらったという思い出の曲。2→何気なく。ガキの頃よく聴いていた。3→日本のハードコアシーンの先駆者の1人（故マサミ氏）のソノシート。伝説の1枚！4→オレ等の世代はみんな知っている（笑）トレーシーローズがゲストヴォーカルをやった1曲。5→某ラジオ番組に匿名でリクエストしたくらい好きな1曲。この曲が収録されたRAINDOGSは世界中で絶賛されたほどの名盤。一度聴くべし！

1 MANO NEGRA / SIDI H' BIBI (Virgin)
2 DEAD KENNEDY'S / Holiday in Cambodia (Vap)
3 GHOOL / Oi Oi
4 MANIC STREET PREACHERS / Little Baby Nothing (SONY)
5 TOM WAITS / Time (ISLAND)

ツヅキ (WITS END)

HUCK FINN

テンション上げて行きましょうということで、たかがBOMB、されどBOMBって感じのを選んでみました。秋の夜長はこんなの聴いてテンション上げて行くのがいいのではないでしょうか？そうすれば思いもよらぬ自分のFLOWに気付いてしまい自分がまた好きになることでしょう。このリズムが町に溶け出せば、虫たちの鳴く声もとてもすばらしいことでしょう。CHECK YOUR HEADでお家を飛び出し、CIBO MATTO、SCI-FI WASABIでBOMBERS爆弾投下、COMPANY FLOWですべてのアルコールに感謝して、最後に、GWASSHIでこらーまーことーって感じです。

1 BEAT NUTS/ THE SPOT -LP (V.R)
2 COMPANY FLOW/Little Johnny From Hospitul -LP (RAWKUS)
3 CIBO MATTO/STEREO TYPE A LP (W.B)
4 BEASTIE BOYS/CHECK YOUR HEAD -LP (GRAND ROYAL)
5 GWASSHI/The Marble Cheddar -EP (SSA)

R.E.S.KAZU (TOP UP PRODUCTION)

とにかく好きなもんは好きなんだよ～！とにかくみんなも1度チェックしてくれ！もう知ってるヤツも多いと思うけど。4,5曲目はもう古いと思うけど最高の曲！俺の中の名曲かな。なんといわれようと何も言わせねぇー。

1 B'ZARO / PAID
2 ACKEE&SALTFISH / HEAT UP (ALPHA Enterprise)
3 MUJINA / Let Me LoveYou
4 WARREN g / THIS D.J.
5 ROYAYERS / EVERY BODY LOVES THE SUNSHINE

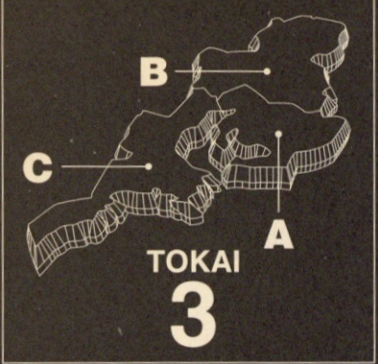
GO chan A.K.A SOFT BALL (SCAR -Vocal)

HUCK FINN

順不同、1はPUNKROCK、SKINHEADS、OI 、RAP。2はコイツラワ、ホントBAD BRAINS-2曲目がカッコイイ！3は6曲目のSKINHEADS RULEはいつもカバーでやっている曲。PARTY BAND。4はWORKING CLASS炸裂スコットランド民謡SKINHEADS。5は中部地区代表爆裂美濃加茂ケルティックフューチャーバンド。オレのマストアイテム、棺桶まで持っていくぜ！ PEACE OUT YO!!

1 DISTRICT 9 / SCHOOL A HARDKNOX (S.F.T)
2 MAXIMUM PENALTY / INDEPENDENT (IJT RECORD)
3 NO REDEEMING SOCIAL VALUE / ROCKS THE PARTY (S.F.T)
4 DROPKICK MURPHYS / DO OR DIE (HELLCATRC)
5 S.D.S / PASTAND FUTUER (MCR)

infomation



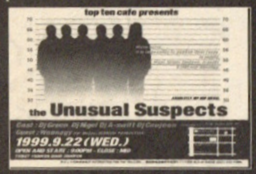
A 愛知

●9/11（土）W.C.C.がプレゼンツするレギュラーイベント「SOUTH and WEST」が9/11（土）から月1回、第2土曜日にCLUB WILD SWANにて行われる！DJ 4-SIDE MOTO DOPEMANが繰り広げる日本一リアルなイベント!!迷わず来い！
（問）W.C.C. 052-625-0187

●9/22（水）にJB'Sで「RHYTHM&IZM」が行われる。このイベントは毎月第4水曜日に行われているヒップホップイベント。毎回、大勢のお客で賑わい、今回は祝日前ということもあってイベント側もやる気充分！出演は、UJI、MASK、MADARA、TEKKENなど。ゲストDJ YANOMIXのミックステープの販売もアリ！B-BOY&B-GIRLは当然集合!! （問）CLUB JB'S 052-241-2234

●9/22（水）「ライムスター登場!!」at CLUB ATLANTIC 年に1度、登場となるライムスター。今回は4階ATLANTICに登場！前回チケット売り切れの為、見れなかった人も大勢いたので早めにチケット入手を!! (問)LUSH 052-242-1388

●9/22（水）
トップテンカフェでHIP-HOPのイベント「unusual suspects」が行われる。DJはGREEN、NIGEL、A-swift、CAUJOON。
ゲストにWOONAGY



●9/23（THU）CLUB WALLにて行われる自己満足的イベント「Music Harmony&Rhythm」ジャンルはディープハウス、R&B、ヒップホップ、ダンスクラシックス。
DJ'S-SHOGO ,SUZUKICK,MASAMI
（問）CLUB WALL 052-251-5609

●10/1（金）「嶋野百恵 aka MOET」at CLUB ATLANTIC お馴染みR&Bのディーバ MOETがCLUB ATLANTIC (THE UNDERGROUND)にていい歌聴かせてくれます！イベントにも関わらずCLUB ATLANTICならではのチケットプライスにはオドロキ!!

●10/2（SAT）
「ACKEE&SALTFISH HEAT UP! tour '99 Final」at DIAMOND HALL
今年もやって来ました！アキソルのツアーファイナル！ACKEE&SALTFISH、DICE-K、NAOTO&MARJARKEY、MACHACO、guding star、SAMURAI SUPER POWER他。LIVE&CLUB STYLE!!

●10/8（FRI）にDiamind Hallにて行われるダンスイベント「NATURAL HIGH」出演はBro.KORN、STRUT、LUV and SOUL、BE BOP CREW、BRONX、P.D UNITS、MINX、他。！ショップFANTASTIC JIVEとSTRONG BURGの10周年を記念して豪華キャストを迎えて送るかなりファンキーなパーティー！スタートは夜7時！踊り乗り遅れるな！（問）チケットぴあ/FANTASTIC JIVE 052-741-6668 (問)LUSH 052-242-1388

●10/8（FRI）「NOEXCUSE」at HUCKFINN WITS END企画ライヴ！出演バンドは今回、東京からDESSERT、Face It、そしてWITS END他

●10/10（SUN）
「LIMITER CUTS」at RADIX
ABSOLUTY CRAZY HIPHOP！というだけあって狂ったイベントになる予感！DJ陣は、DJ KENSEI、HAZU、YUKIJIRUSHI、CAUJOON、YONE

●10/17（SUN）「THE LIVING」at JB'S HOUSE&SOULの100%ダンスイベント「ハウスのソウルを聴け！」DJ:WPs AKI 19：00～

●10/31（SUN）「RADIO FRYER#2」at HUCK FINN
DO IT 052 FANZINEが企画するライヴ、今回はSCAR×PROTECTのSPLIT EPのレコ発記念とハロウィンパーティ！仮装ライヴを予定中！
出演は、SCAR、PROTECT、WITS END、EXTRAVAGANZA他 19時スタート！

●10/31（SUN）「SPEAK OUT&STAND PROUND」at 豊橋ラハイナ
定期的に行われているハードモッシュライヴ！
出演バンドは、SWING ARM DEVICE-CHANGE SECOND TO NONE BEYOND HATE

★おっとビックリ！車がショップ？ショップネームは「quicksand」簡単に言ってしまうと移動式スケート＆ウエアショップ。ということで栄を中心に常時、巡回して販売をしている様子。岐阜や春日井、小牧に豊田など問い合わせ一つでどこでも飛んで行くというから驚き！取り扱いブランドはGirl,Alien,Flip,Element,Chocolate,4 Star,Zoo YorkにTimberland,JcrewにSupreme,SI.Classicなど雑貨もアリ。又、スケートボードを売るだけではなくてスタッフの指導もありと親切!!人の温かみを感じるね。あっそう言えばロバのパン屋ってどこ行ったの？
（問）quicksand 090-418-40512

INFO→FAX!!
0529168869

トレインヤードの町

真山貴穂

真黒だね、そうだね、みんなこの真黒の中で生きているんだね…。闇がそう囁いた…。

その真黒の中で生きている人々を乗せ都会の地下鉄は、真暗な闇の中をただ真っ直ぐ1本の線路の上を走っている。同じ目的を持った者たちが…

この地下鉄が24時間運行になってから半年くらい経つだろうか、オレは毎日決まった時間に乗っている。だいたい朝3時から4時30分の間。でもみんなはこの時間の地下鉄を妙に嫌う。当たり前だ。ドラック中毒、売春婦、大声で歌う黒人、紙コップを片手に金を恵んでもらっているオヤジ…。

「オレがこの日本を救ったんだぞ！オマエらに解るか！なのにこの様だ、どうなってやがるこの日本は！」

いつもの決まったセリフだ。おまけに酒臭い、ゴミだらけ。真面目なヤツが乗るわけもない。オレがこの地下鉄に乗っている理由はいくつかある。ずっと町をフラフラしているというのもあるが、丁度GARAGEに着く頃、町の景色が紫になっているからだ。1日の中で1番好きな時だ。光は嫌いだ。

「おい、STICK！　オレの歌、聞きたくねぇか？」

黒人がオレの所にやって来た。

「お前、この前もそう言ってオレから金を持っていったじゃねーか、もういいよ！」

「そうか、じゃまたな。STICK、光には気をつけろ魔物がいるからな」

ここにいるヤツらはみんな光を嫌う。真面目な人間が闇を嫌うようにオレたちは光を嫌う。別に可笑しいことではない、地下鉄が24時間運行になったことでヤツらはみんなここへ逃げ込んだだけだ。でもきっと心のどこかで光を望んでいるのだろう、人だから。でも闇を嫌うヤツらよりよっぽど目はキラキラと何よりも光っていた。そろそろオレの降りる駅だ。

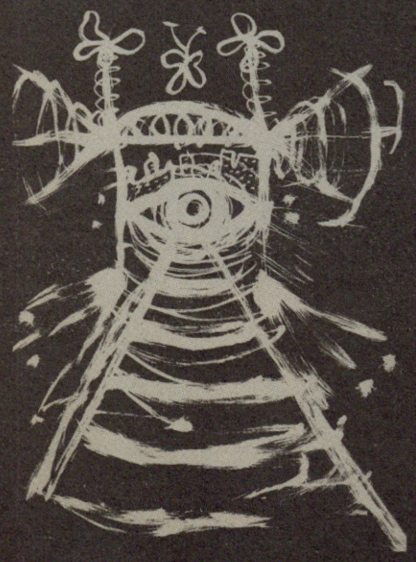
「この町も変わったな」

オレはいつもホームに降りる前、独り言としては大きすぎる声でこんなオヤジ臭いセリフを言っている。誰1人として反応しないが、みんなの耳には入っている。みんな1人なんだ…。電車のドアが開いた。

「オイ！光には気をつけろ！」

ヤク中ヤローまでがオレにそう言った。軽く頷きオレは光の差さない町へと出ていった。

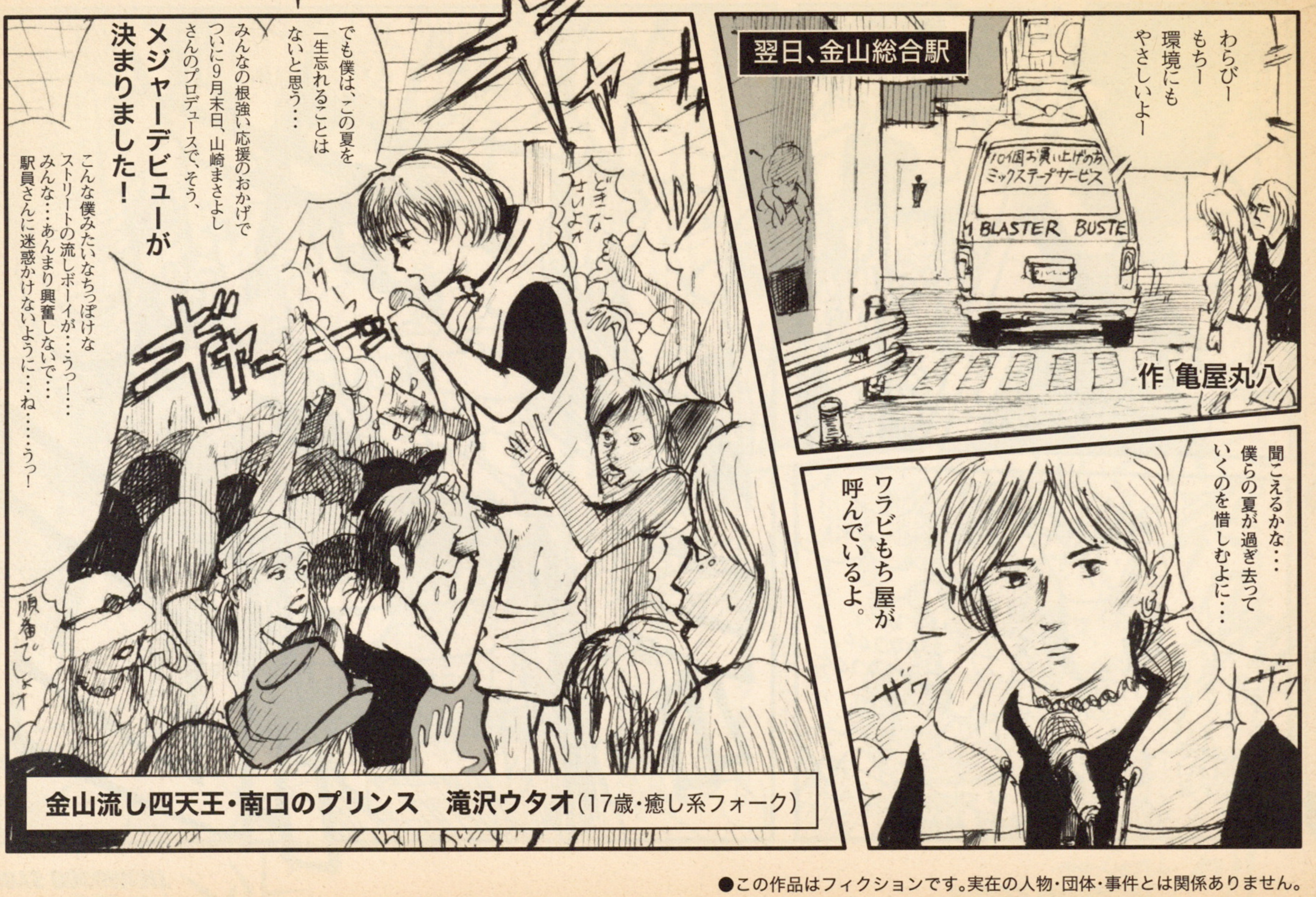
「また1人か…」



N-BOYS DOCUMENT 多重人格流し ノリト

多重人格流しノリト～金山NAGASHI列伝～　第2話「さよなら厚底」

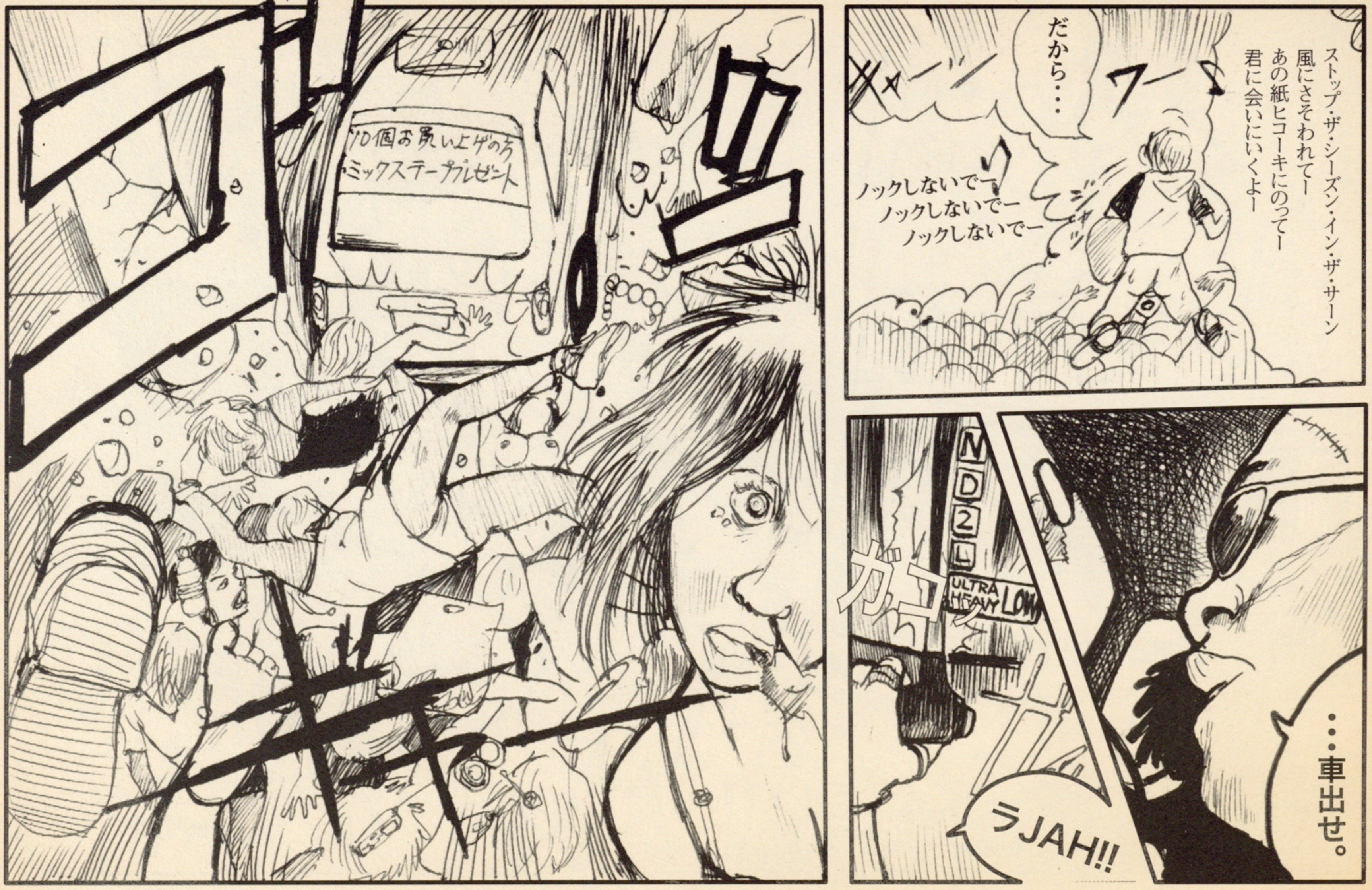
金山総合駅南口に、四天王・滝沢ウタオ登場！しかし…



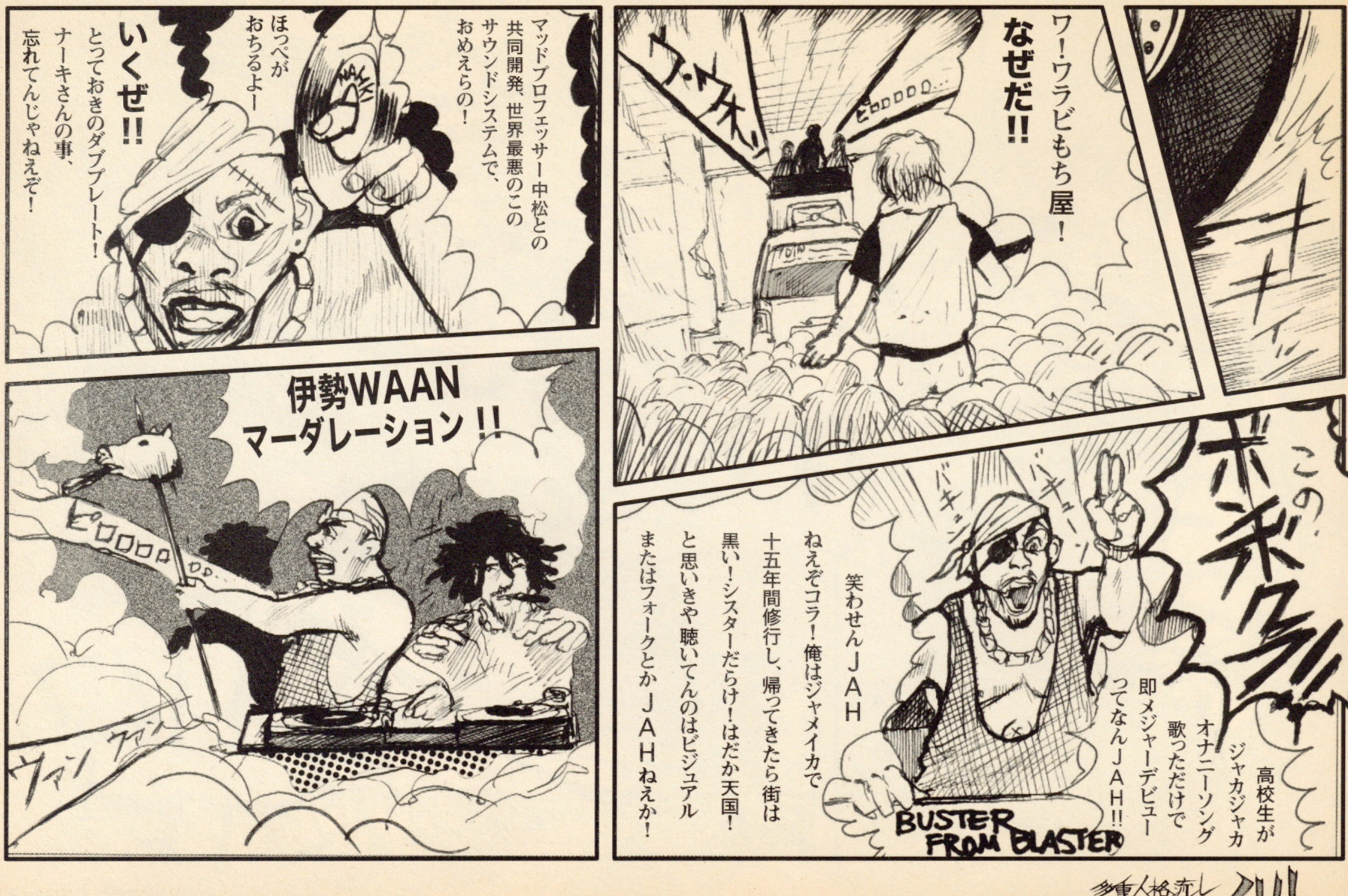
あらすじ　ここはあなたの知っている金山とは少しも違わない金山…日雇いとグルーヴの街。リストラされた電話会社勤務の松永ノリトは、池田○族の実弟、池田親族のリーマンソング（大迷惑）にヤラれ、流しの世界に足を踏み入れた。

●この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件とは関係ありません。

おたより
ゴリラーマン以来の衝撃です！持つ手が震えました！どんどんカリスマ店員を登場させてください！（名古屋市／頭文字Dクン）

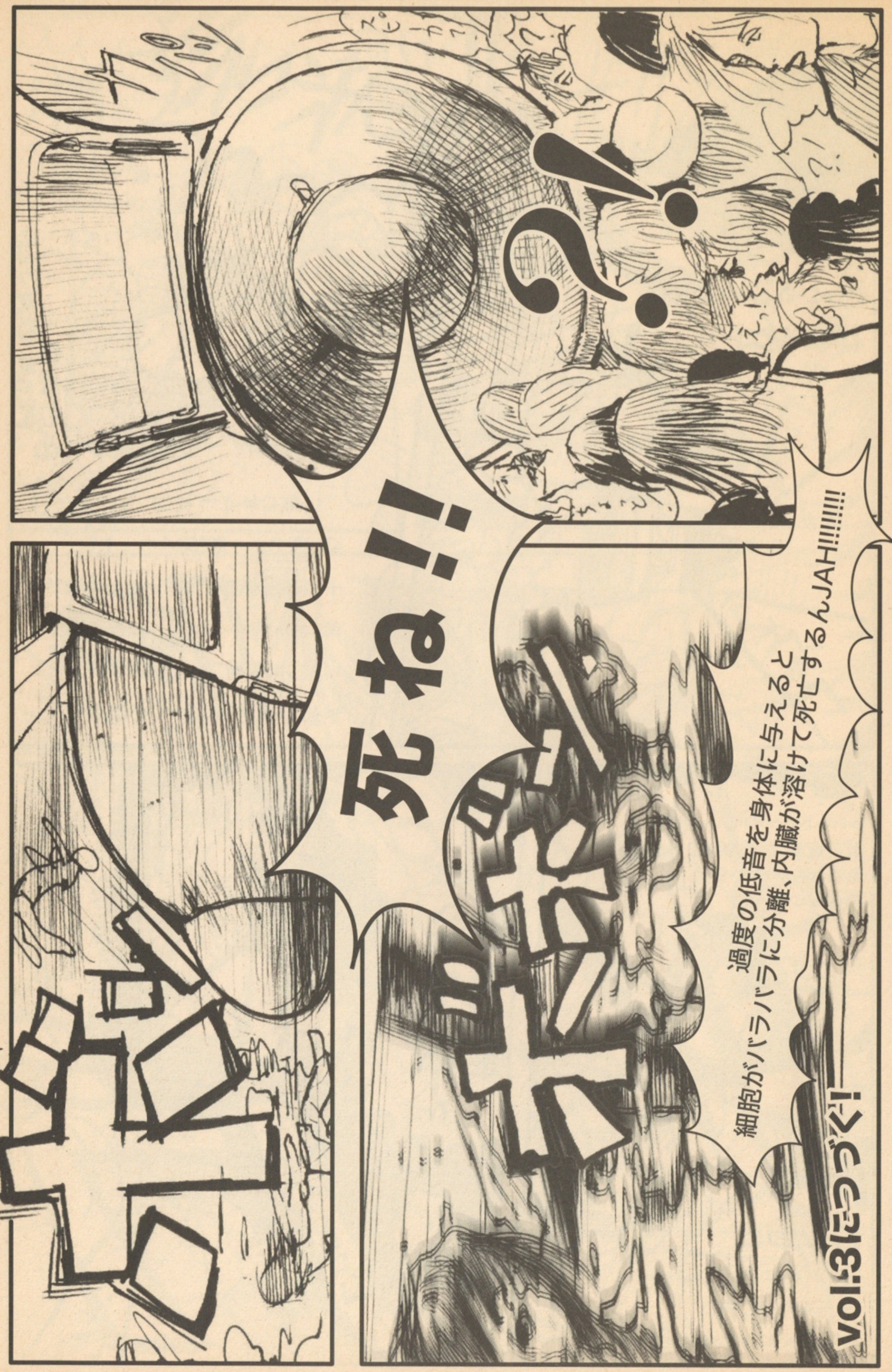


この作品に対する感想や、メッセージなどのお便りを大募集していまーす。
宛先は〒462-0047愛知県名古屋市北区金城町3-3-6-105ルーツ編集部「多重人格流しノリト」係まで。



おたより
「じらしっくパラダイス」「ペンギン」「亀」など数々の名作を知っている僕としては、先生のパワーダウン感は否めません。もっと小ネタを！（刈谷市／Q-TIPクン）

四天王滝沢あやうし！打つ手はあるのか!?



第一次・金山戦争勃発！！遂に始まった、この仁義無きバトルにノリトはどう絡んでくるのか！？
次号、衝撃のノリト覚醒！！待て！！

多重人格流し ノリト
N-BOYS DOCUMENT

本当です。ベース音はあげすぎるとチンポは立つし、超低音を出す実験で即死した人も存在します。気をつけないと死にますよ。

密告！IN FORMER----

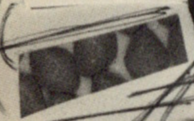
あんた誰？

NO. 002

名前/タカクンニン
職業/旅人
なで型　前座
趣味/夢精
好きなタレント/ともさかりえ
罪/年中ヤル気のない顔をしてみんなに心配をかける

では被告人タカクンニン前へ！
検察側-おいお前！職業が旅人って、旅が仕事になるのかコラ！
被告人-えぇえ〜！だって…
検察側-旅って何処さまよい歩いてんだシムラケン！
被告人-福島県から岡山、四国まで…へぇん…ダッフンダ！
検察側-あぁ、オイオイ人の話を聞けってのブリッ！あみゃこの目撃証言があるんだから覚悟しろよネビラチェーン！
被告人-だぁあ〜！どうしよぅぅ〜、"まぁいいやめんどくさい。人生に疲れたぁ"（実録）
検察側-全国各地からも「疲れた顔をしている。やる気なさそう」などと証言を得ているんだ！ザマミソ！
被告人-ウキウキにでも居るわぁ。バイバーイ！
検察側-コラコラコーラ!!!!
裁判長-うるしゃぁぁ〜いシャバ僧！人の話を聞けっつうの！アホ。
「判決！　被告-タカクンニン、"今はもう動かないおじいさんの時計" よって "**死刑ポイ捨て"!!** 分別しろよ。

昼過ぎに35個の目覚ましに起こされて、寝起きに無理矢理21杯のコーヒーを飲んで目覚めて街に取材に出かける。954人と会って325枚写真を撮って7回飯食って家に戻る。102件の留守電を聞いて404件電話をする。そうして気がつくと原稿を作っており、1日80,564回キーを打っている。勿論、タバコは1日34箱ヘビー？って言ってるうちに外が明るくなってきてめざましテレビを観ながら床につく締めきり間近か。
ー手ぶらで南の国へ行き、真っ青な海に囲まれて、1日521杯ビールを飲んで、好きな音楽を105回聴いて、浜辺で314人の女に囲まれて2017回ものキスに溺れながら日が暮れて、広い道を時速1400キロでブッ飛ばしそのまま眠ってしまいたいなぁ…なんてバカなことを真剣に考えてしまう1999夏



Hi-SKOOL落書き!?

CHECK IT LYRICS!!～楽しく学ぶ（嘘クサッ）

夏は終わってねーぞという野郎にピッタリ！何で今さらニューロティカなの？そんなの知るかバカヤロウ！

夏・渚・17才 [日本コロムビア]

真夏の出来事　夕陽落ちるころ
君と出会った　時が静かに青く止まる
ドキドキするような　甘いささやき1
歯の浮くセリフ2で　てれて星も今夜はかくれる
夏の渚3に　ゆれた　あの娘は
深く　とけて4　オイラ　makin' love5
やらせて　やらせて6　夏を愛した
男にならせて　トコナツ7 愛なんだ
夏になれば　心ト・キ・メ・ク8
オイラハートに　近い左手で
君を抱き寄せ　ちょっと気取って
パパに内緒だぜ　ママに内緒だぜ
ノッポのキャロル　もまぶしすぎた遠いmemory
夏の渚に　ゆれた9 あの娘は
深く　とけて　オイラ　makin' love
やらせて　やらせて　夏を愛した
男にならせて　トコナツ　愛なんだ
夏になれば　心ト・キ・メ・ク
都会の汗を乾かし　水着に口づけ　OK!
夜の長さに誘われ　髪に口づけ　OK!
海に叫んだ　チェリーボーイ10 あの娘に

JASRAC 出9910729-901

検索用語…意味／勝手な悟り

1. 甘いささやき…囁く-声を潜めて話す。／これでアホ女は酔いしれる。
2. 歯の浮くセリフ…歯が浮く-軽薄できざな言行を見聞きして不快いなる／オレの歯も虫歯で根っこがゆるんどるから浮くんですけど…
3. 夏の渚…渚-海、川、湖などの波の打ち寄せる所。／水難事故多発注意ってコト
4. とけて…解ける-心がゆるむ、安心する。／小娘どもはすぐユルむ。そんなのばっかりだ！
5. makin' love…直訳は愛を作る-で、性行為をする／要するに男は皆やりたいばっかりだ！文句あるか股ユル女！愛を作れ！
6. やらせて…やる-物事を行う／夏だからってやってばっかりじゃぁ厄介なモノもらって痛くなるぞ！誰かさんみたく。
7. トコナツ…常夏-いつも夏のようであること／誰かがトコナッツって言っとった。真冬でも半袖と短パンの奴って小学校に1人は必ずいた！
8. 心トキメク…ときめく-喜びや期待のために胸がどきどきすること。／〆きり間に合うのか!?ときめいている瞬間…
9. ノッポのキャロル…のっぽ-並外れに背が高いこと／馬並みにデカイって言うでしょ。
10. チェリーボーイ…チェリーは桜の実／チェリーボーイって今はあんま使わんから、オイおめぇチェリーボーイ！理由なんかねえ。

今月のBADNEWS

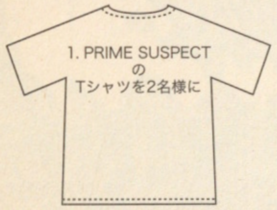
■カギを落してしまった!!→3日部屋に入れずクーラー消し忘れ→車こするクソー!→またもやMAC言うこときかず勝手な行動→片目負傷→大惨事!!
■最近ついて無いんだよな～。車ん中に置いといた、カセットテープがさー、この夏の暑さに耐えられず、トロットロに溶けちゃったんだよね～。しかも全滅。テープとテープがくっ付いてんの。マジびっくりしたよ。ちょっと美味しそうなくらい溶けてんだもんな～。TONYとか、JOEとか、MORALESも、全部パー。もぉ～～、溶けんなよ!!よえーな!!

nexx
premier selected
〒460　名古屋市中区大須3丁目44-51　タウンコートパル1F
nexx ☎ (052) 252-7678

THE ROOTS COME STRAIGHT FROM THE UNDERGROUND
PEDESTRIAN
ROOKIE NYC . GENERIC COSTUME
IMANI . T-19 . SQUEEZE
COMPLETE . SNEAKERS
AND IMPORTED STAFF
2F HEIGHTS SAKAE ,5-19-25 SAKAE,NAKA-KU
CALL 0522640168

倒壊地方を東海地方にしましょう！
強力な協力店、協賛店求む！
ショップ・イベントの広告、随時募集！
お問い合わせは　roots / 052-916-8869　まで!!

Present from roots 読者プレゼント

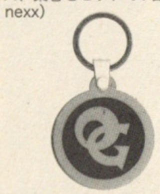


（提供 / COMEDY&TRAGEDY）

2.LIFERSのT-シャツを3名様に
（提供 / LIFERS.）

3. DO IT 052 FANZINEを3名様に
（提供 / DO IT 052 FANZINE）

4. NEXXからポケベル型ライター、サングラス、葉巻をセットで1名様に
（提供 / nexx）



5 .OH!theGUILTのラバーキーホルダーを3名様に
（提供 / T.F.L.）

club JB'S JB | TICKET

6. CLUB JB'Sからイベントのインビテーションを2名様5組に
(なんのイベントかは謎。当たった人だけが解る。)

★官製ハガキにこのアンケート用紙を張り付けてroots編集部まで送って下さい！ →
〒462-0047愛知県名古屋市北区金城町3-3-6-105　roots 「 Vol.01プレゼント」係まで、当選者は次号発表します！すべての締め切りが10/15当日消印有効。

ルーツアンケート

★希望商品番号に○をつけてね！

1　2　3　4　5　6

氏名　　性別　　年齢

〒

住所

TEL

1 面白かった記事を！いくつでもOK!

2 ダメ記事を上げると？

3 インタビューして欲しいアーティストは？

4 よく行くスポットは？

5 rootsにやって欲しい企画

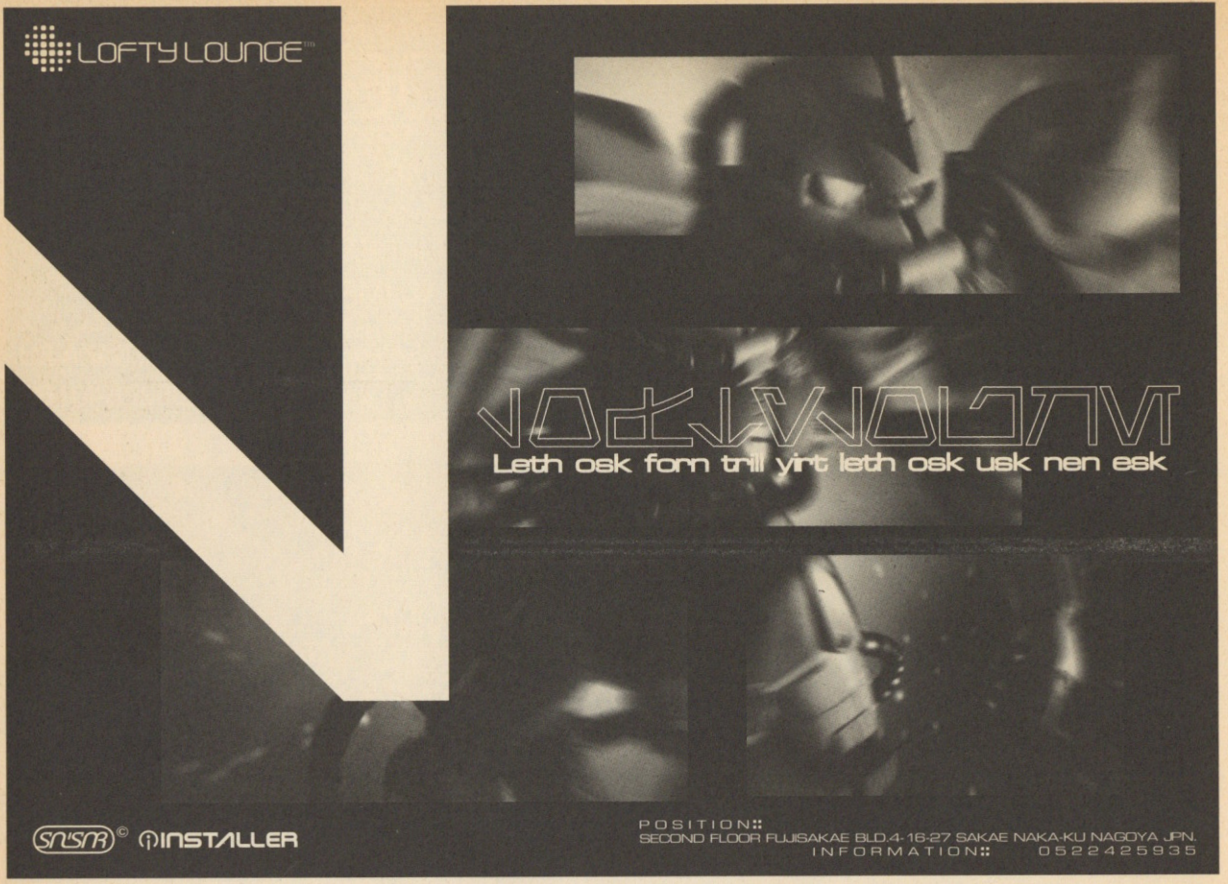
6 好きなアーティスト

7 好きなブランド

8 好きな音楽　ジャンル：　　アーティスト：

9 rootsをどこで購入しましたか？

10「最近の悪いコト」＆「ざんげしたい！」（BAD NEWSなどのコーナーに載せるかも）＆御意見、御感想がありましたら書いて下さい!!



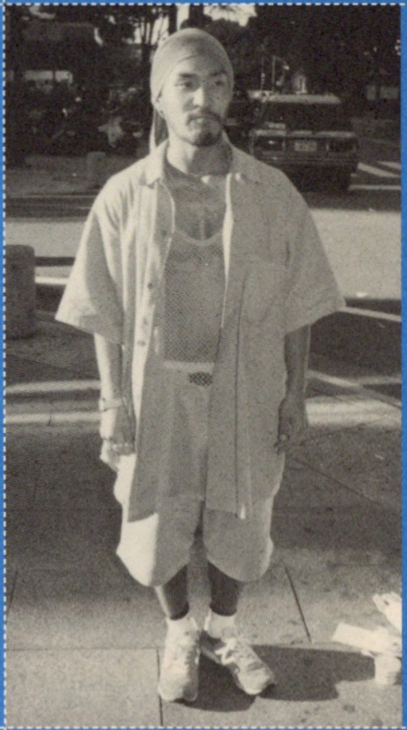
LOFTY LOUNGE
Leth osk forn trill yirt leth osk usk nen esk
sn'snr ©
INSTALLER
POSITION::
SECOND FLOOR FUJISAKAE BLD.4-16-27 SAKAE NAKA-KU NAGOYA JPN.
INFORMATION:: 0522425935

"301MORI DIA HEIGHTS SAKAE NAKA-KU NAGOYA" 052-261-0373...
"OPEN13:00-20:00 HOLIDAY-WED..."
"ALL AROUND MACK DADDY COMPLETE FINESS CLEVER CRIME SWAGGER"
BEHIND VANITY
BV

SUBSCRIBE
THE FIRST NUMBER!!
1999
BRANDNEW!!!
roots
nagoya street culture magazine
WHAT'S NEW IN MAGAZINE
ALL SUBCULTURE COLLECT EVOLUTION, FREEDOM OF THE PRESS
every other month - ON SALE! 300yen
MUSIC,FASHION,ART,CLUB,LIVE+MORE
FLIP OF THE DIME!!
LIVELY UP YOURSELF!
MAWASHIYOMI
ANMARY
SHINAIDEKAEYO

Fashion Junkies

On the street
roots style!
1999 summer in sakae~osu



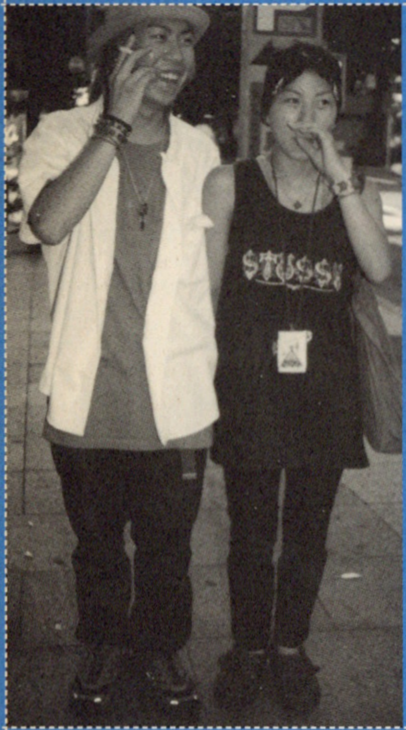
武田大樹（フリーター／21歳）　ヒサヤオオドオリ

one point： ハンドメイドのHEMPシャツ

Like music： REGGAE

Voice： 今日はハンズですだれ買いました！

落ち着いた色使いにも関わらず、ナチュラルになりすぎていないには彼のキャラクター。頭に巻いたカラフルなタオルが味付けとなっていていい。独自の着こなし。



たくや（フリーター／19歳）

one point： In-formのパンツ

Like music： ROCK

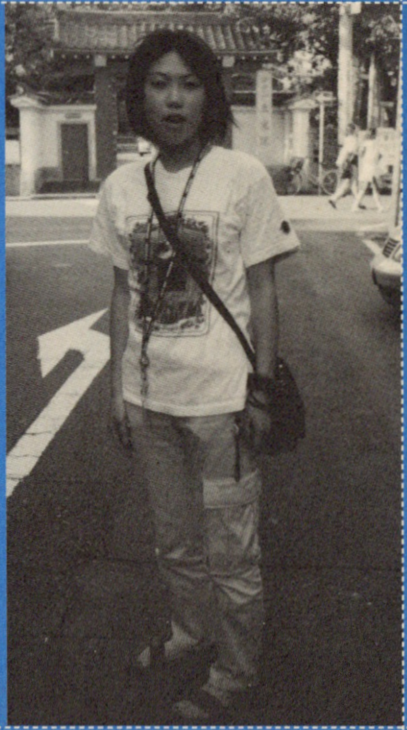
Voice： 今日は滋賀県からやってきました！

りか（会社員／19歳）　ヒサヤオオドオリ

one point： LEO WATCH

Like music： ROCK

パッと見は今どきな感じだけど、何となく魅力的な2人でした。女のコのアイテム使いとバランス、雰囲気が良かったです。滋賀にもルーツ置かないかんね！



しいちゃん（学生／20歳）　オオス

one point： お気に入りのBAD TASTEのTシャツ

Like music： スカとか。スネイルランプ。

Voice： 大須に一人できました。ミカウバー最高！

出ました、BAD TASTE大好き少女！パンツもBAD TASTE！アイテム類もBAD TASTE！そうして彼女もBAD TASTE!!!

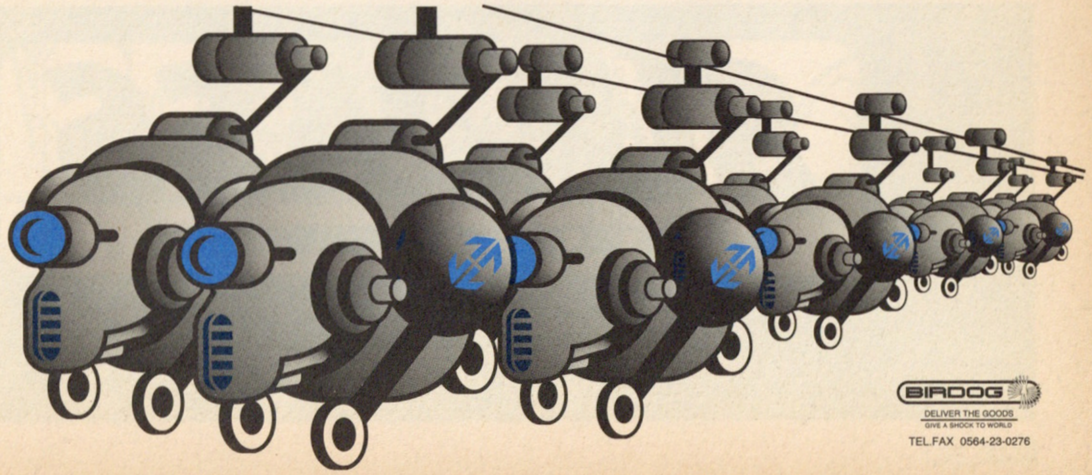
リコ（販売員／21歳）　ハンズマエ

one point： 友達に作ってもらったビョウベルト

Like music： PUNK

Voice： glam-Dに遊びに来て下さい！

これはビョウベルトでしょう。自分らしさを何気なく出している着こなし方で通好み。くどくない感じがマル。もちろん爆音でPUNK聴いているんでしょうね。



Critical Item アイテム無差別級、何気なくコレいいじゃん！

1. HACK FORD&SONG/SILVER RING　¥34,000
アメリカ西海岸のシルバーブランド「HACKFORD&SONG」のシルバーリング。モチーフがサイコロやトランプ、クローバーなどと、ロックンロール色の強いこのブランド。元々クロムハーツ関係の人が始めたブランドだとか。とにかくシブイ！デザインもカワイイ！といった感じです。他にもピアス、チェーンなどアリ。（FRONT by T.F.L / 052-917-2262）

2. MOTA/ベルクロ スニーカー　¥9,800
お馴染みの東京のスニーカーブランドのMOTA。なんとなく色と素材と形が残暑っぽかったので紹介します。肝心のカラーが分かりづらいのが残念ですが、実に鮮やかな空色です。ヘンプ素材という所だけでスニーカーも変わるんだなぁ。
（ROOKIE / 058-265-1364）

3. MAGICBALL　¥1,000
ある人が持っていて、ワイワイ遊んでいるのを見て欲しいなぁと思っていたところ、花火の屋台で見つけたその名もマジックボール。何がマジックかと言うと、コレを空中にポイっと投げてやると、パっと広がるんです！伸び縮みするだけでマジやられます！使い方は人それぞれだそうです。ビックリクリ！
（発見場所 / 花火屋台）

4. 民族楽器　¥2,400
ココナッツの実をくり抜いて皮をかぶせてある手軽なパーカッション。インドネシアはバリからやってきた陽気な民族楽器。形も良いし大きさも気に入った、叩くと軽くかん高い音なので思わず気持ちも軽くなるのです。本気な太鼓は高いから…って人、まずはこんなのからどう？（Silk road/052-243-7242）

5 DIESEL / ボディバッグ　¥4,800
ナイロンの上にラバーコーティングされたボディバッグで、カラーはネイビーグリーン。見た目はすこし小さくみえるが、身に付けるとこれがジャストフィット！とってもオシャレな、ユニセックス。その他、同系素材のポーチ、リュック、サイフなどもある。今年はラバーコーティングですナ。
（OUT POST 058-265-3537）

6.エケッコー人形　¥900〜3,800
ボリビアからやって来た、平和と繁栄を祈る福の神様として多くの人々に崇められているエケッコー。只今、日本広域に出没警報！様々な人のたくさんの願いを背負ってたくましく立っている。好物はマルボロというから驚き！日本で言うところの大黒様といった感じ。サイズ豊富に揃ってます。
（Silk road/052-243-7242）

7. MEGA / CALCULATOR & BRICK GAME　¥1,980
小物に定評がある岐阜PARK LIFEで見つけた、謎のポケットゲーム。伝説のゲーム機"ATARI"を彷彿させるフォルムに加え、なんとこれ1つで、570種類ものゲームが楽しめ、しかも計算機としても使えるスグレもの。しかし、電源を入れてみないと、どのゲームが始まるかわからず、選ぶ事もできないという、バルブンテな一品である。
（park LIFE / 058-267-6040）

8. TRIK TOPZ / バルブ　キャップ　¥500（2コ入り）
ダイス形のバルブキャップ。カラーはイエロー、グリーン、ブラック、シルバー、ブルー、レッド、などなど、とっても色鮮やか。ちゃんとサイコロとしても使える上、ダイスをころがせ！ってシャレもきいてます。made in USA
（park LIFE / 058-267-6040）

9. ALL AROUND / ポーチ　¥6,800
オリジナルブランドALL AROUNDのポーチはストラップをはずして腰に着用できる仕組みになっている。頑丈なうえ、ほど良いサイズに配色のバランス（この写真だと色は分かりにくいが）がポイント高い。色は、ネイビー、カーキ、レッド、イエローの4色。（Behind VANITY / 052-261-0373）

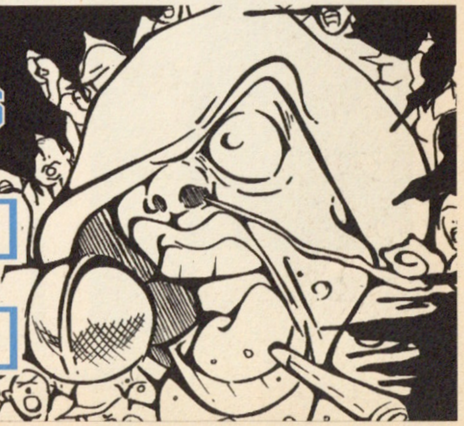
10. Clarks×STAR WARS / USED SNEAKER　¥ASK!!
ウソマジ!!これはオドロキ！フシギ!?クラークスのスニーカーに話題のスターウオーズ!?のダブルネーム!!??激レア劇的!!コメントはスゴイの一言ですよこれは。ユーズドにしては程度も良く、ソールには星がいっぱいでロマンチック！
（R'S / 052-265-0926）

11. T-19 / UNDERWEAR　¥2,800
ズボンを履かないスケーターのためにT-19のトランクス。バックロゴが新鮮、新鮮なうちにナマモノは食べましょう。そうしてレッド、グレー、カーキ、チャコール、ネイビーの5人5色揃っています！御存じヨッピーの主催するT-19。
（PEDESTRIAN/052-264-0168）

12. Rockin' Jelly Beanのクリアスケートボード　¥15,800
これは乗って滑るにはもったいない是非部屋のインテリアに！って言っても全長50cmくらいだからマジでは乗れないでしょ。ここんトコ、ジェリー・ビーンのイラスト至る所で発見します。これ以上あんまり変な仕事を引き受けて欲しくない絵描きの1人ですわ。（MICOWBER 052-221-5887）

SURPASS
SHOP : AT FIRST
3-118 ekimaeoodouri toyohashi aichi jp
TEL & FAX 0532-52-8801

EAST OF BRIDGE
HIP-HOP CLOTHES
E.O.B.P CLOSIC
NAGOYA SAKAE 5-3-2 NAE BLD 7F　OPEN/12:00-20:00　052-251-5661

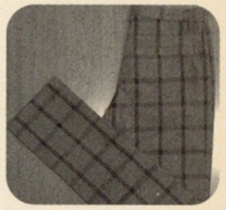


Brand Seminar デザイナーのチョットよい話

OH! THE GUILT

OH! THE GUILT 企画 / 小森ヒサシ（28歳）

STARTは96年、当時SHOPのオリジナルブランドが結構出てきたのでうちもやろっかって感じで始まった。最初は行き当たりばったりで（今もそうだけど）アイテムも少なかった。98年から今みたいな形になって、アイテムも増えてきた。基本的に企画は自分、グラフィックを241くんにやってもらっている。企画をする時は「誰も作っていない物を作ろう」とか「長く着てもらいたい」とかあまり考えない。洋服なんて飽きる物。大切なのは、今必要（欲しい）か必要でない（欲しくない）かだけだ。無理矢理いえば色んな要素を混ぜて良い化学反応があれば良いかなって感じだ。そんなスタンスでやってる。この秋冬は今までになくカラフルな色使い物が多くなっている。例えばオリジナルボディのL/S Teeとかウインドブレーカー、コットンリップの後染チェックのシャツ、スリムパンツ（超細い）この辺はかなりカラフルなんでお楽しみに。それ以外にもナイロンパーカー、ニットキャップ、ウォレット等企画中。年末に毎年出しているSPECIAL物も企画中？まあ基本的には今ぐらいのペースでのんびり、急がずにやっていきたい。以前と比べると結構本気でやっているので多くの人に見てもらいたいし気に入って買ってもらいたいと思います。サイゴニOTGにカカワッテルヒトカズスクナイOTGファンノコノバヲアタエテモラッタrootsホントウニカンシャシテマスアリガトウ



販売店（東海地区）● FRONT by T.F.L（名古屋）/ 052-971-2262 ● park LiFE（岐阜）/ 058-267-6040 ● ANOTHER WORKS（岡崎）/ 0564-26-7476

F I X

F I X 企画：香織さん

「fix」がイメージする女性像は、少女と大人の間くらいの微妙な感じで、かわいくとも、女らしくも、着る人によって、いろいろな着かたができるので、流行にとらわれず、自分自身の感覚で選んで着こなせる人に着てもらいたいです。そういう願いをこめて、ブランド名を付けました。デザイン自体はシンプルで、アンティークっぽさに今の流行を少し取り入れた感じです。洋服ができあがってから、ビーズやスパンコール、刺繍などで、手を加えるのでほとんど1点物に近い感じになっています。秋冬はツイードを使ったワンピース・スカート・ジャケット、ファーのケープ・バックなどを予定しているので興味があったら是非、お店の方に見に来て下さい。

Cinnamon / 3F MORI DIA HEIGHTS 3-31-8 SAKAE NAKA-KU NAGOYA / 052-242-6512

Awake culture

movie

双生児

独特なこだわりと映像センスで人々を魅了する、『鉄男』の塚本晋也監督が、江戸川乱歩の短編小説を大胆に、塚本流アレンジで映像化。階級意識が歴然としていた明治末期の日本を舞台に、同じ顔を持った2人の男とその間で揺れる美しい女の数奇な運命と復讐劇が描かれていく…が、そこにあるのは完璧な塚本ワールド。登場人物のマユをつぶしたメイクとパンクな衣装、冷ややかでねっとりとした質感の映像が、国も時代も乱歩をも超越した、不思議に妖しい独特な世界を創り上げている。撮影から美術、照明までひとりで何役もこなす自主映画を撮っても、プロフェッショナルと組んでも、何をどう撮ろうと、これだけきちんと自分のカラーを出せる監督は稀少。細部にまでこだわりが感じられる映像には、嬉々としてカメラを覗く塚本監督の姿が見え隠れする。

主演は2役を演じた本木雅弘と、これが映画初出演となるりょう。本木雅弘のキレッぷりは凄まじく、マユをつぶしたりょうの姿は人間を超越した美しさ。そしてまた、この2人の絡みのシーンは芸術的に美しい。しかし、塚本ファンとして欲を言わせてもらえば、もっともっとねっとりとした、絡みつくようないやらしさが欲しかった。

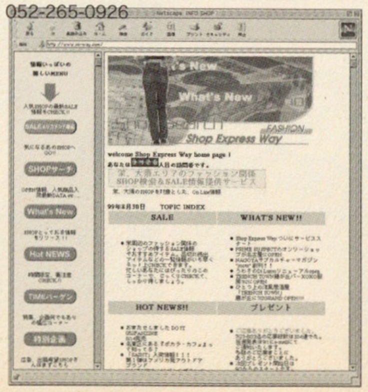
■監督・脚本・撮影・編集：塚本晋也　■出演：本木雅弘／りょう／筒井康隆／もたいまさこ／浅野忠信／竹中直人
●9月18日（土）～●シネプラザ2

web

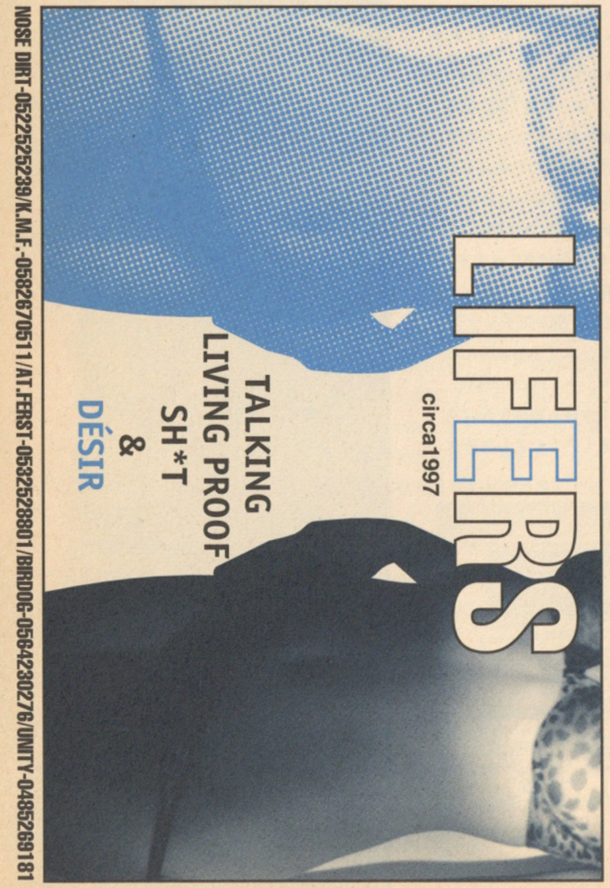
何と、インターネットで名古屋の栄～大須エリアの約300店舗の服屋中心のショップ情報が知ることができるという検索サイトがこの夏7月に登場した！簡単に言ってしまえばYA-HOOの名古屋版!?探したいショップのカテゴリーやキーワードになるものから選択してくれ確実に検索できるというスグレモノ。なおかつ新鮮な情報が週がわりで紹介！新しモノ好きにはヨダレがでます。ショップを検索できつつそのショップの場所が分かりやすくMAPに記されています。親切すぎるほどのMAPが方向音痴なあなたをナビってくれて涙が出てきます。だけど実際ショップに行くのはあなたの足と手間が必要ってこと。あと、身内情報などが学級新聞ノリで紹介、ほのぼのさせてくれます。ケチケチの人のためのSALE情報は見逃せません！細かにチェックを入れるためにアクセスしましょう！　そして驚きの豪華プレゼントが本当にビビリます！ちなみにボクも送っときました！高価な物ばかり！当ててくださいよ。ちなみに今度のプレゼントにroots提供しているから応募してね。この素晴らしき地域密着方ホームページは必要でしょう！今後も通販を設けたり、オールジャンルなどまだまだ幅広く、そして楽しく展開していく様子。さっそくアクセスしてみよう！

アドレス‥http://www.se-way.com　（問）　R's　052-265-0926

www.se-way.com

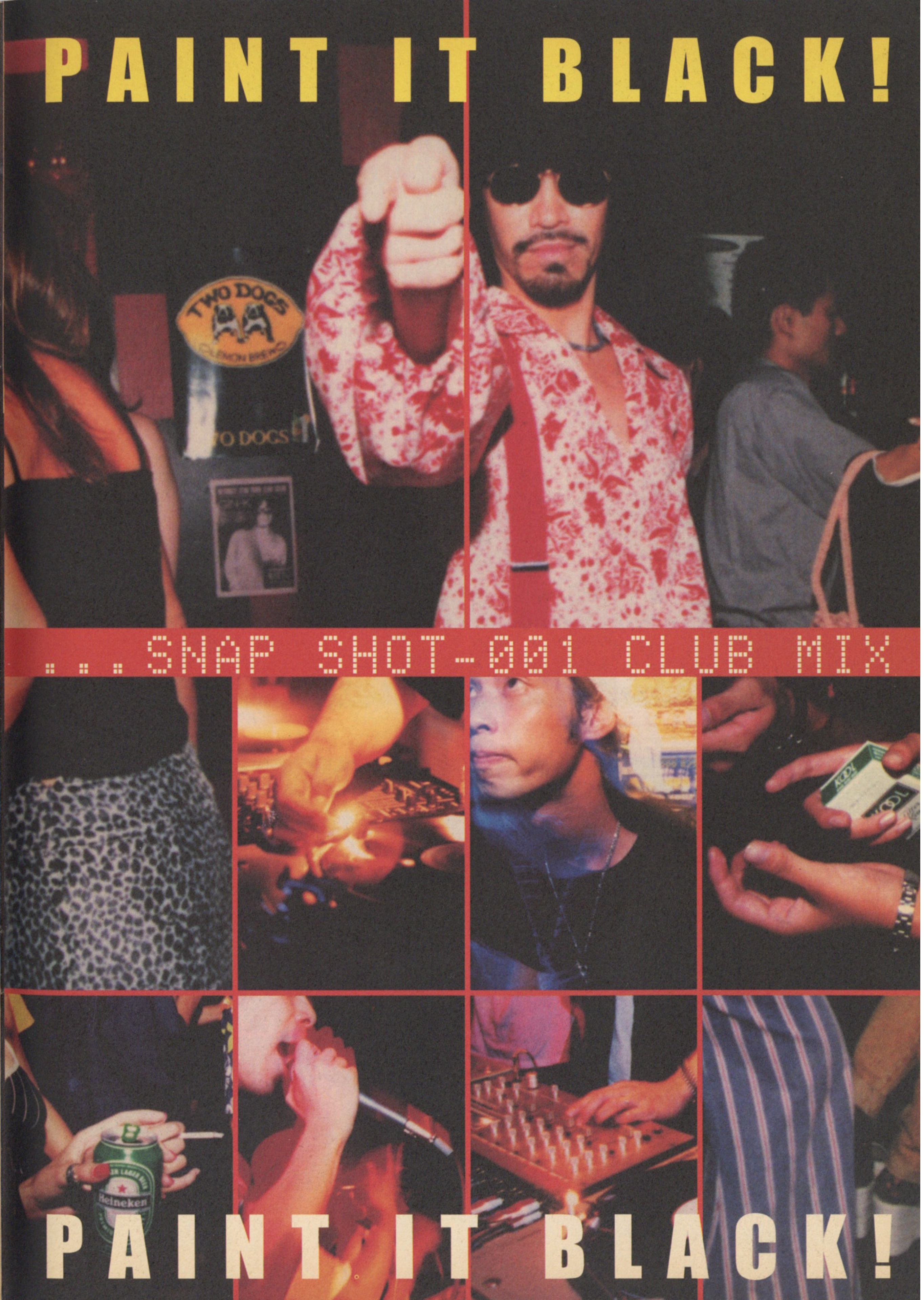


PRODUCT LINE T.F.L FRONT by T.F.L parkLiFE™
□ T.F.L SHOP
4A NAE SAKAE 5-3-2 SAKAE NAKA-KU NAGOYA 052-263-4704
□ FRONT by T.F.L
305 WHITE MATES 1-14-23 IZUMI HIGASHI-KU NAGOYA 052-971-2262
□ parkLIFE
34 HACHIMANCHO GIFU 058-267-6040

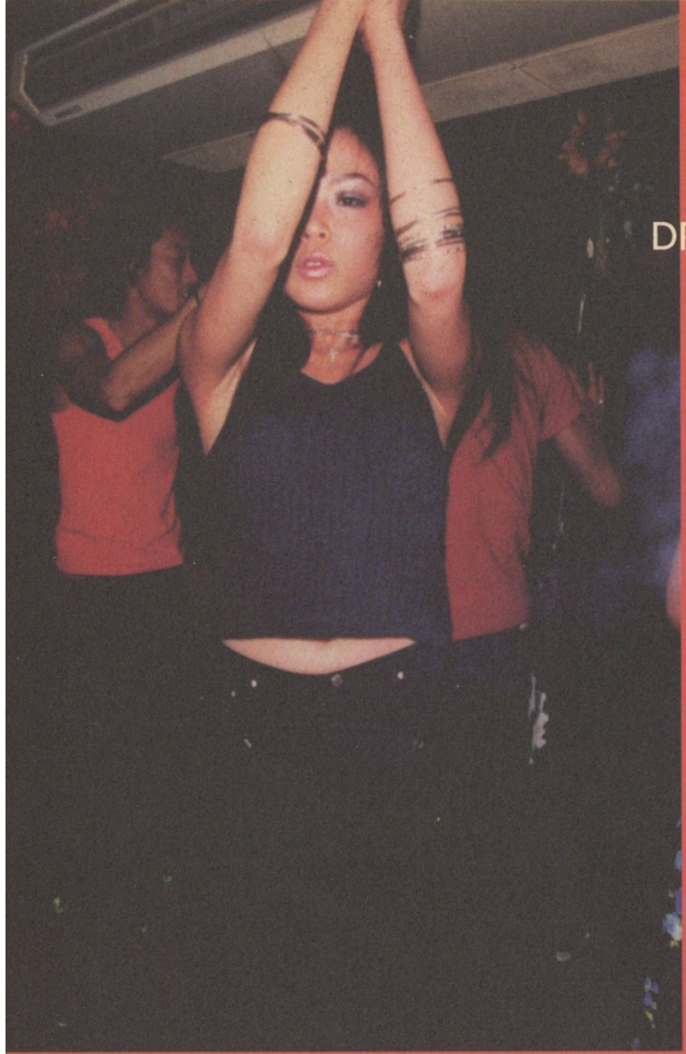


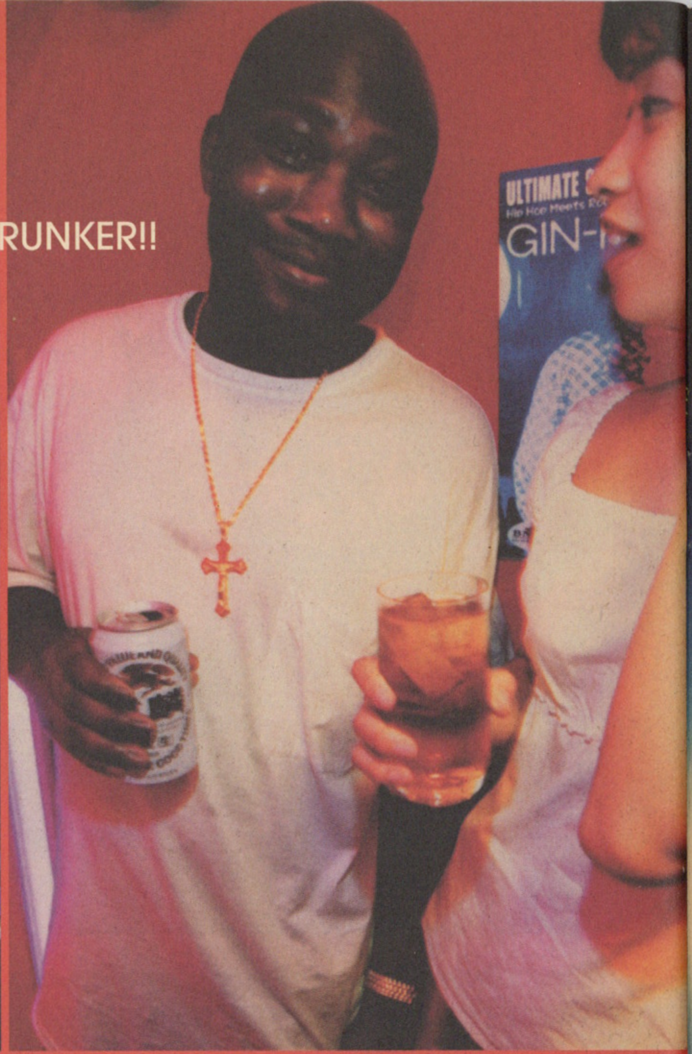
NOSE DIRT-0522525239/K.M.F.-0582670511/AT.FERST-0532528801/BIRDOG-0564230276/UNITY-0485269181
LIFERS
circa1997
TALKING
LIVING PROOF
SH*T
&
DÉSIR

COMEDY & TRAGEDY
Prime Suspect represents vengeance, instead of turning the other cheek!
CALL : 052-262-1711

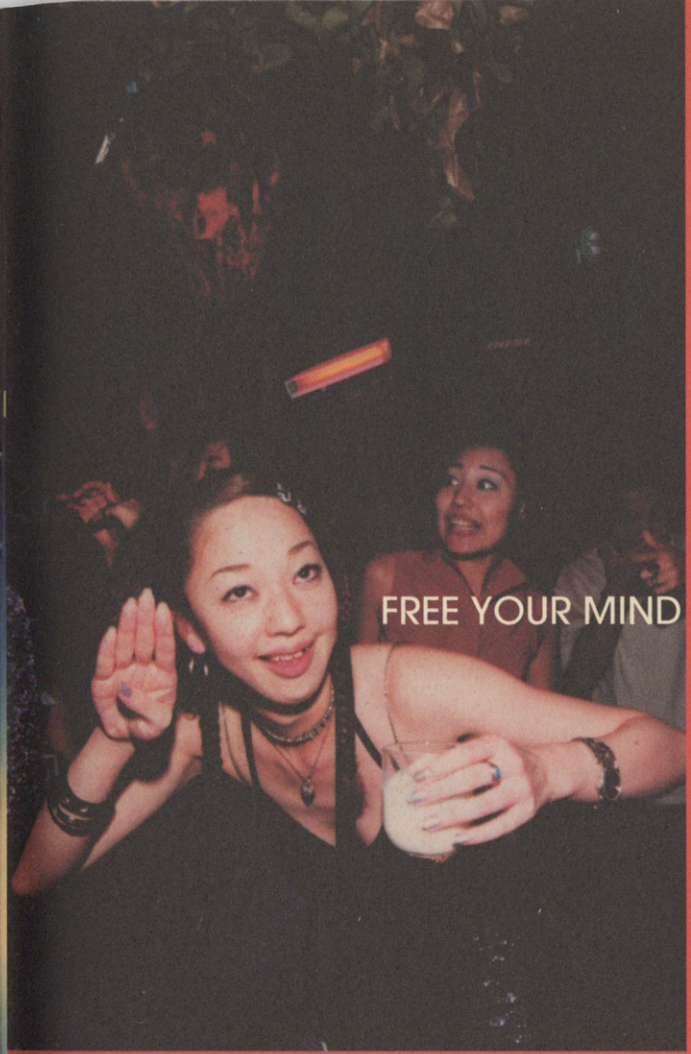


PAINT IT BLACK!
TWO DOGS
...SNAP SHOT-001 CLUB MIX
Heineken
PAINT IT BLACK!





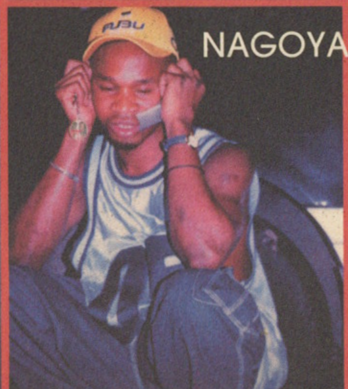
DRUNKER!!



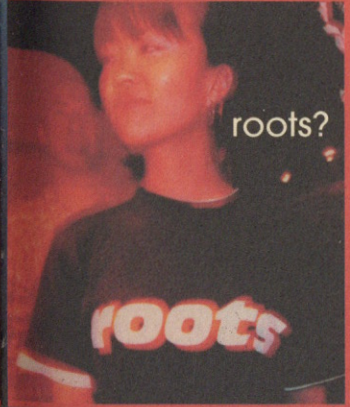
FREE YOUR MIND IT'S TIME FOR GOOD TIMES!!

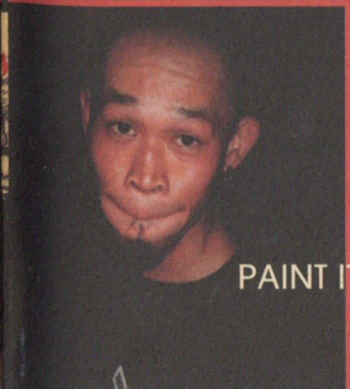
WE GOT THE MUSIC CUTTIN' THOUGH ME TALKIN CONTROL OF MY SOUL!!

I'M POSTMAN



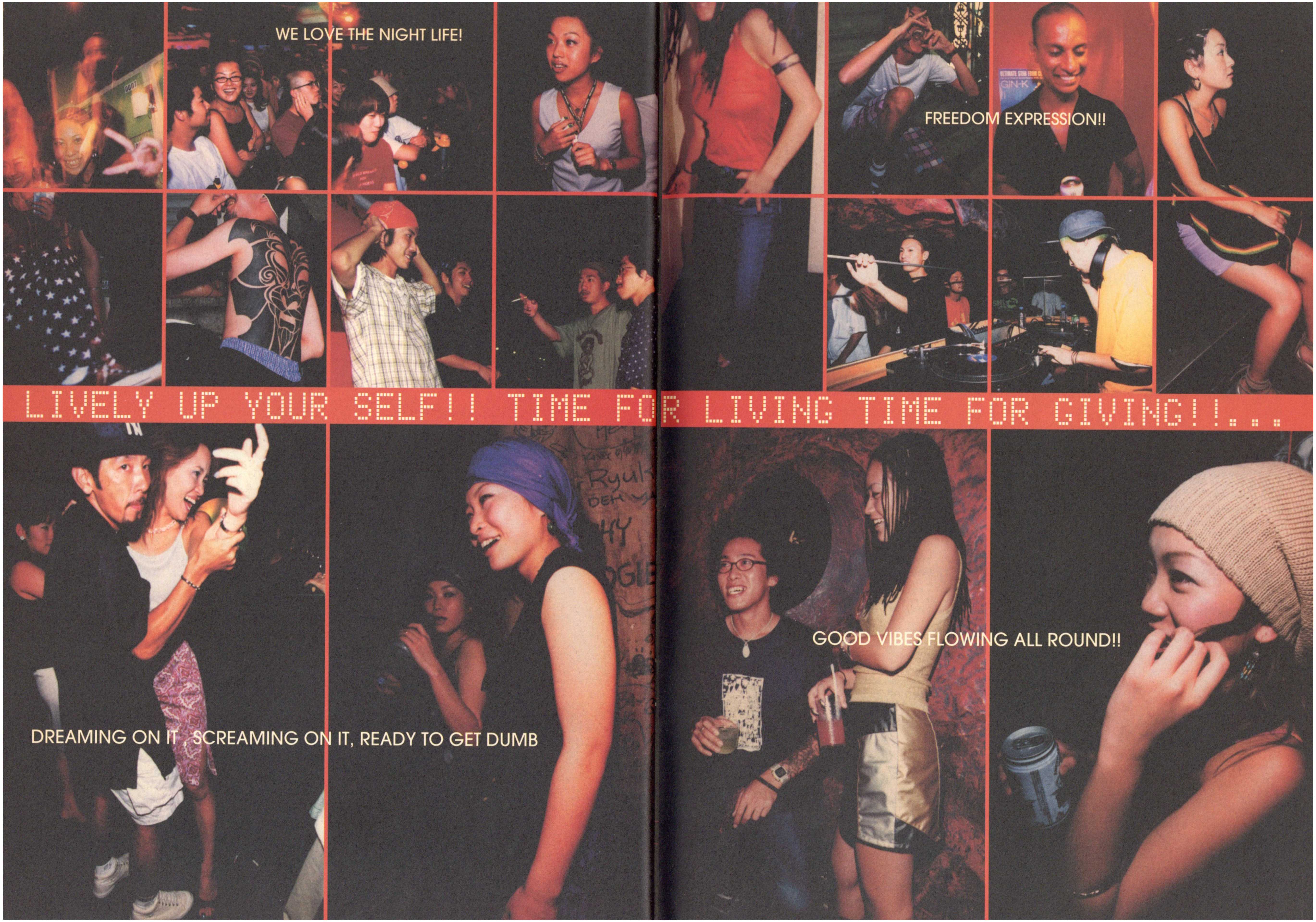
NAGOYA CITY TOO HOT!





roots?

PAINT IT BLACK!


WE LOVE THE NIGHT LIFE!
FREEDOM EXPRESSION!!
LIVELY UP YOUR SELF!! TIME FOR LIVING TIME FOR GIVING!!...
DREAMING ON IT , SCREAMING ON IT, READY TO GET DUMB
GOOD VIBES FLOWING ALL ROUND!!

ココ入ってみよっかな～？

WHERE SHOPPING?

NO CARE

178 cm

──お店のコンセプトを聞かせて下さい
「黒の中だね」
──店内はいつもどんな雰囲気なの？
「暗めです！黒の中」
──よくかかるBGMは？
「ヒップホップがメインだね」
──休みの日は何をして過ごしますか？
「酒飲んでます！」（笑）
──このお店をお店以外でたとえるとしたら？
「3Dから4D、デジタルから
アナログに変わる進化の異空間」
──今、取材されてどんな気分ですか？
「カッチャン嫌い！(怒)　でもrootsは好き！
LIFERSも好き！」
──お客さんにコメントを
「何か見つけて下さい！」

GV 2000さん

名古屋市中区栄5-14-5 プルマンビル3F
tel 052-261-6288
PM 13:00～PM 20:00土日・祝日は
PM 12:00～PM 20:00　無休

主な取り扱いブランド
NO CARE / PIECE BOOKS
最近の売れ筋ランキング
1. NO CAREのワークキャップ　¥5,800
2. NO CAREのデニムペインターパンツ　¥18,800
3. PIECE BOOKSのNew Tシャツ　¥5,800

FRONT by T.F.L

169 cm

──まず、お店のコンセプトを聞かせて下さい
「幅広い意味でのストリートファッション」
──店内はいつもどんな雰囲気なの？
「改装して、今のところキレイ!!」(笑)
──よくかかるBGMは？
「いろんなミックステープかなぁ」
──休みの日は何をして過ごしますか？
「えっマジそんなコト…。普通にデート!?」(笑)
──このお店をお店以外でたとえるとしたら？
「何だろう？おもちゃ箱！」
──今、取材されてどんな気分ですか？
「roots頑張れ！2号も応援します！
今後も続いてほしい！」
──お客さんにコメントを
「改装したことだし、
秋物もバンバン入荷するから来て下さい！」

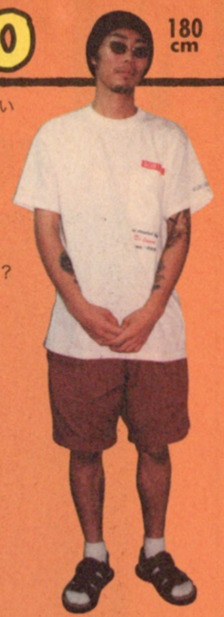
ヒサシさん

名古屋市東区泉1-14-23 ホワイトメイツ3F
tel 052-971-2262
PM 12:00～PM 20:00
無休

主な取り扱いブランド
MONTAGE / BUZZER BEATER / diffeducation / OH! THEGUILT / grass coats
最近の売れ筋ランキング
1. MONTAGE アノラック　¥19,800
2. OH! THE GUILT のTシャツ　¥5,800～
3. PdiffeducationのBMX　¥38,800

DI LUSSO

180 cm



──まず、お店のコンセプトを聞かせて下さい
「メンズ＆レディスでベーシック！」
──店内はいつもどんな雰囲気なの？
「すずしい!!」(笑)
──よくかかるBGMは？
「R&Bっぽい…なんでもかな」
──休みの日は何をして過ごしますか？
「友達とワイワイ！休みたい！」
──このお店をお店以外でたとえるとしたら？
「難しいなぁ。ルネッサンス」（笑）
──今、取材されてどんな気分ですか？
「気持ちイイ!!」（笑）
──お客さんにコメントを
「気軽に入って下さい！
秋物もぞくぞく入荷します！」

カトウさん

名古屋市中区栄3-31-8 モリダイヤハイツ3F
tel 052-252-7539
PM 13:00～PM 20:00
水曜定休

主な取り扱いブランド
NOBILE / ARMANI EXCHANGE / BANANA REPUBLIC / RALPH LAUREN / BROOKS BROTHER
最近の売れ筋ランキング
1. NOBILEのTシャツ　¥4,800
2. A/X のキャミソール　¥6,800
3. BANANA REPUBLIC　サマーニット　¥11,800

COMEDY&TRAGEDY

60 cm

──まず、お店のコンセプトを聞かせて下さい
「導かれるままに！」
──店内はいつもどんな雰囲気なの？
「ギャラクティック！な雰囲気!!」(笑)
──よくかかるBGMは？
「JAZZ、FUNKにHARD CORE少々
…趣味の感じで！」
──休みの日は何をして過ごしますか？
「夏は海！冬はニューヨーク！」
──このお店をお店以外でたとえるとしたら？
「気のきいた、オシャレな牢屋!!」
──今、取材されてどんな気分ですか？
「…（笑）ありがとうございます！」
──お客さんにコメントを
「気軽に話しかけて下さいね!! 9月にはスウエット、
ネルシャツ、厚手のハンティングパンツ等が出ます！」

JUNK&HERBIEさん

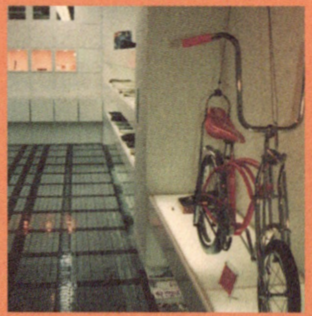
名古屋市中区栄5-3-2 NAEサカエビル3F
tel 052-262-1711
PM 13:00～PM 20:00
土日・祝日はPM 12:00～PM 20:00
無休（ライブ日は休）

主な取り扱いブランド
PRIME SUSPECT
最近の売れ筋ランキング
1. PRIME SUSPECTのオーバーオール　¥21,800
2. PRIME SUSPECTのTシャツ　¥5,800～
3. PRIME SUSPECTのハット　¥6,800～

LOFTY LOUNGE

12 cm

──お店のコンセプトを聞かせて下さい
「救済してください…」
──店内はいつもどんな雰囲気なの？
「明るい！
12cmなんで店員が見えない!!」（笑）
──よくかかるBGMは？
「有線放送！」
──休みの日は何をして過ごしますか？
「盆栽、畑仕事。たいていそうだよ！」
──このお店をお店以外でたとえるとしたら？
「養老院!?」
──今、取材されてどんな気分ですか？
「イライラしている！」
──お客さんにコメントを
「助けに来て!!」



KEIさん

名古屋市中区栄4-16-27フジサカエビル2F
tel 052-242-5935
PM 12:00～PM 20:00
水曜定休

主な取り扱いブランド
snail's snore / INSTALLER
最近の売れ筋ランキング
1. snail's snoreのリバーシブルロングT-シャツ　¥9,800
2. INSTALLERのポケットバッグ　¥6,000
3. snail's snoreのリブシャツ　¥13,800

NEXX

175 cm

──まず、お店のコンセプトを聞かせて下さい
「ファッション！ミュージック！カルチャー！」
──店内はいつもどんな雰囲気なの？
「ミュージックハーモニー＆リズムな雰囲気」(笑)
──よくかかるBGMは？
「ディープハウス!!　ヒップホップ、R&B」
──休みの日は何をして過ごしますか？
「最近はBMXにハマってます！」
──このお店をお店以外でたとえるとしたら？
「溜まり場!? いわば、紳士＆淑女の
社交場ですか」（笑）
──今、取材されてどんな気分ですか？
「イベントもよろしく！DJも頑張ってます!!」
──お客さんにコメントを
「これからも、あたたかな目で見守ってやって
ください!!（腰ひくめで）」

SHOGOさん

名古屋市中区大須3-44-51 タウンコートパル1F
tel 052-252-7678
PM 12:00～PM 20:00
水曜定休

主な取り扱いブランド
JUS-2 / BLEND / TAO / B.Q.E. / RACE
最近の売れ筋ランキング
1. BLENDのSoul of Wreck Tシャツ　¥4,800
2. TAO　のウエストバッグ　¥12,800
3. JUS-2　ネックピース　¥1,200

ROOKIE

178 cm

──お店のコンセプトを聞かせて下さい
「ベーシックで、作りの良い物をセレクトしてます」
──店内はいつもどんな雰囲気なの？
「…(笑）マイペースな感じです！」
──よくかかるBGMは？
「いろいろかかってます！」
──休みの日は何をして過ごしますか？
「適当に遊んでるか、ゆっくり過ごしてます！」
──このお店をお店以外でたとえるとしたら？
「ん～。ロンドン!?行きたい！」（笑）
──今、取材されてどんな気分ですか？
「うれしいです」（笑）
──お客さんにコメントを
「いつもありがとうございます。オリジナルなか
っこよさを自分で見つけに来て下さい！」

奥田さん

岐阜市玉宮町2-14　富士屋デパートビル2F
tel 058-265-1364
AM 11:00～PM 19:30
水曜定休

主な取り扱いブランド
Let it Ride / DEVILOCK / SPANISH CURVES / SEX / SHOP original IN FORM
最近の売れ筋ランキング
1. Let it Ride×GRETSCH ダブルネームTシャツ ¥6,800
2. DEVILOCKのTシャツ ¥5,800
3. Let it Rideのウエストバッグ ¥16,800

NEXT ISSUE

roots-vol.03 11.11 ON SALE!

- ??? SECRETE ARTIST -excrusive interview
- MACHACO-interview&report
- SWING ARM-interview
- TOMORROW-interview
- ACKEE&SALTFISH-report
- KERRI CHADLER-report
- FASHION-snap shot

残暑見舞い申し上げます。だいぶ涼しくなってきましたね。このまま季節と共にクラブ＆ライヴ＆ファッション・シーンも寒くならないようにがんばりましょう。
ちなみに僕らはもう…

roots vol.02 / SEPTEMBER 1999. 隔月発売　¥300　禁・無断転載
印刷：長苗印刷株式会社
発行所：ルーツ・インターナショナル
愛知県名古屋市北区金城町3-3-6-105　TEL / FAX 052-916-8869
mail address / roots-mz@muf.biglobe.ne.jp
roots international / 3-3-6-105 Kinjo-cho,Kita-ku,Nagoya,Aichi,Japan　Zip 462-0047

roots standing shop

roots magazine 販売店リスト | vol.02

名古屋
ACT.NATURALLY
ALASKA RECORDS
A STORE ROBOT
BEHIND VANITY
BONNIE MOON (Osu BROOKLIN V.)
BELLS
BASK IN THE WOOD
COMEDY&TRAGEDY
CLUB MYTH (Sakae NOVA)
CASETTE STAR
DI LUSSO
DISK JAM
DOWNSTAIRE
DEPENDS
EAST OF BRIDGE
PEDESTRIAN
FRONT by T.F.L
FREAKY
GROOVE 本店
GO WITH THE FLOW
JB'S
LOFTY LOUNGE
LUSH THE UNDERGROUND
LION MUSIC DEN
NOSE DIRT
NO CARE
Nexx
NAKED SKIES
NEO SOUL MASTER'S CAFE
MICOWBER
MYTH GIRL (Nagoya PARCO)
PINK PRETTY CAT
QUICK SAND
RADIX
R'S STORE
SOUL MATE
S.I.H
SILK ROAD
SKILLZ
T.F.L
TOP TEN CAFE
UNCHAIN
UNITED STYLE
W.C.C.
VALENTINE RECORD MART
VILLAGE VANGUARD 本店
VILLAGE VANGUARD 名古屋生活創庫店

岐阜
BLEASE
BRAD
CRACK
CLUB MYTH (Gifu PARCO)
ENJOY
INDEX
K.M.F
MUSIC THERAPY
MOCAMBO
OMNIBUS
PARK LIFE
PEPS
ROOKIE
新星堂 (APIO店)
VILLAGE VANGUARD Bro.店
VILLAGE VANGUARD VOL.1店

豊橋
AT FIRST
NU
ON THE HILL RECORDS

岡崎
BIRDOG

豊田
SEVEN SECOND DELAY

富山
DISCOVERY

福岡
GUAVA

TM
nocare:piecebooks
phone:0522616288